

別府溝部学園短期大学収容定員関係学則変更届出書

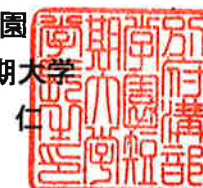
2024年6月26日

文 部 科 学 大 臣 殿

学校法人 溝部学園

別府溝部学園短期大学

学長 溝 部



このたび、別府溝部学園短期大学の収容定員に係る学則を変更する事について、学校教育法第4条第2項及び学校教育法施行令第23条の2第1項の規定により、別紙書類を添えて届け出ます。なお、届出の上は、確実に届出に係る計画を履行します。

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄								備考
計画の区分	短期大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者	ガッコウホウジン ミゾベガクエン 学校法人 溝部学園								
フリガナ大学の名称	ベップミゾベガクエンタンキダイガク 別府溝部学園短期大学								
大学本部の位置	大分県別府市大字野田字通山78番地								
大学の目的	教育基本法並びに学校教育法に従い、別府溝部学園短期大学の建学の精神である「自立・自活できる人材の育成」を基本目的とし、ライフデザイン、食物栄養、幼児教育及び介護福祉に関して深く専門的な学術を研究するとともに、職業に必須の教育を授け、豊かな教育と優秀な技能とを有し、かつ極めてよき指導者として有為な人材を育成し、民主主義社会における文化の創造進展に寄与することと併に、地域振興に貢献できる人材の育成を目的とする。								
新設学部等の目的	入学定員の適正化を行うことによる、大学の安定的な運営と、一層行き届いた教育の実施を目指す。								
新設研究科等の概要	新設研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地
		年	人	年次人	人			年 月 第 年次	
	ライフデザイン総合学科	2	75 (60)	-	150 (120)	短期大学士 (ライフデザイン)	家政学	令和7年4月 第1年次	大分県別府市大字 野田字通山78番地
	幼児教育学科	2	50 (70)	-	100 (140)	短期大学士 (幼児教育)	教育学・保育学	令和7年4月 第1年次	大分県別府市大字 野田字通山78番地
	介護福祉学科	2	35 (30)	-	70 (60)	短期大学士 (介護福祉)	社会学・社会福祉学	令和7年4月 第1年次	大分県別府市大字 野田字通山78番地
計		160 (160)		320 (320)					
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	該当なし								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数					卒業要件単位数		
		講義	演習	実験・実習	計				
	科目	科目	科目	科目	単位				
学部等の名称		基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)	
		教授	准教授	講師	助教	計	人	人	
新	ライフデザイン総合学科	3 (3)	3 (3)	1 (1)	2 (2)	7 (7)	2 (2)	47 (47)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	3 (3)	3 (3)	1 (1)	2 (2)	7 (7)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	3 (3)	3 (3)	1 (1)	2 (2)	7 (7)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	3 (3)	3 (3)	1 (1)	2 (2)	7 (7)			
幼児教育学科	7 (7)	3 (3)	0 (0)	2 (2)	12 (12)	3 (3)	18 (18)		
設	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	7 (7)	3 (3)	0 (0)	2 (2)	12 (12)			

大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 3人

大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 5人

分	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	/	/		
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	計（a～d）	7 (7)	3 (3)	0 (0)	2 (2)	12 (12)				
	介護福祉学科	3 (3)	3 (3)	0 (0)	3 (3)	9 (9)			0 (0)	8 (8)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			/	/
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	小計（a～b）	3 (3)	3 (3)	0 (0)	3 (3)	9 (9)				
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	計（a～d）	3 (3)	3 (3)	0 (0)	3 (3)	9 (9)				
計	13 (13)	9 (9)	1 (1)	7 (7)	28 (28)	5 (5)	73 (73)			
食物栄養学科	6 (6)	2 (2)	0 (0)	3 (3)	11 (11)	3 (3)	18 (18)			
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	/	/			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
小計（a～b）	6 (6)	2 (2)	0 (0)	3 (3)	11 (11)					
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
計（a～d）	6 (6)	2 (2)	0 (0)	3 (3)	11 (11)					
計	6 (6)	2 (2)	0 (0)	3 (3)	11 (11)			3 (3)	18 (18)	
合計	19 (19)	11 (11)	1 (1)	10 (10)	39 (39)			8 (8)	91 (91)	
既設	職 種	専 属			そ の 他			計		
	事 務 職 員	6 人 (6)			9 人 (9)			15 人 (15)		
	技 術 職 員	0 (0)			0 (0)		0 (0)			
	図 書 館 職 員	0 (0)			1 (1)		1 (1)			
	そ の 他 の 職 員	0 (0)			0 (0)		0 (0)			
	指 導 補 助 者	2 (2)			0 (0)		2 (2)			
		8 (8)			11 (11)		19 (19)			
校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計				
	校 舎 敷 地	8,608.29 m ²	0 m ²	0 m ²		8,608.29 m ²				
	そ の 他	5,065.55 m ²	0 m ²	0 m ²		5,065.55 m ²				
	合 計	13,673.84 m ²	0 m ²	0 m ²		13,673.84 m ²				
校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計					
	8,891.15 m ² (8,891.15 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)		8,891.15 m ² (8,891.15 m ²)					
教室・教員研究室	教室	室	教員研究室	室						
	図書	学術雑誌		機械・器具	標本					

大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 6人

大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 3人

図書・設備	新設学部等の名称	〔うち外国書〕	電子図書	〔うち外国書〕	電子ジャーナル	点	点
		冊	〔うち外国書〕	種	〔うち外国書〕		
		()	()	()	()	()	()
		()	()	()	()	()	()
	計	()	()	()	()	()	()
スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂		厚生補導施設		
	㎡		㎡		㎡		

経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		教員1人当り研究費等		150千円	150千円				
		共同研究費等		800千円	800千円				
		図書購入費	1,100千円	1,100千円	1,100千円				
	設備購入費	2,500千円	2,500千円	2,500千円					
	学生1人当り納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、雑収入 等								
字等	大学等の名称	別府溝部学園短期大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍		
	ライフデザイン総合学科	2	60	-	120	短期大学士(ライフデザイン)	1.03	平成20年度	大分県別府市大字野田字通山78番地
	食物栄養学科	2	40	-	80	短期大学士(食物栄養)	0.75	昭和42年度	
幼児教育学科	2	70	-	140	短期大学士(幼児教育)	0.49	昭和44年度		
介護福祉学科	2	30	-	60	短期大学士(介護福祉)	1.18	平成15年度		
附属施設の概要	該当なし								

(注)

- 1 共同学科の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあつては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあつては「短期大学設置基準別表第一イ」、専門職短期大学にあつては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
- 3 「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」、「スポーツ施設等」及び「経費の見積り及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 空欄には、「-」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人 別府溝部学園短期大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
別府溝部学園短期大学				別府溝部学園短期大学				
ライフデザイン総合学科	60	-	120	ライフデザイン総合学科	<u>75</u>	-	<u>150</u>	定員変更(15)
食物栄養学科	40	-	80	食物栄養学科	40	-	80	
幼児教育学科	70	-	140	幼児教育学科	<u>50</u>	-	<u>100</u>	定員変更(△20)
介護福祉学科	30	-	60	介護福祉学科	<u>35</u>	-	<u>70</u>	定員変更(5)
計	200		400	計	200		400	

(交通機関別アクセス)



■JR亀川駅西口より

徒歩10分

タクシー3分

■JR別府駅より

大分交通バス亀川行き20分「亀川新川」下車→徒歩10分

亀の井バス鉄輪・別府医療センター行き25分「別府溝部学園短大前」下車→徒歩3分

タクシー15分

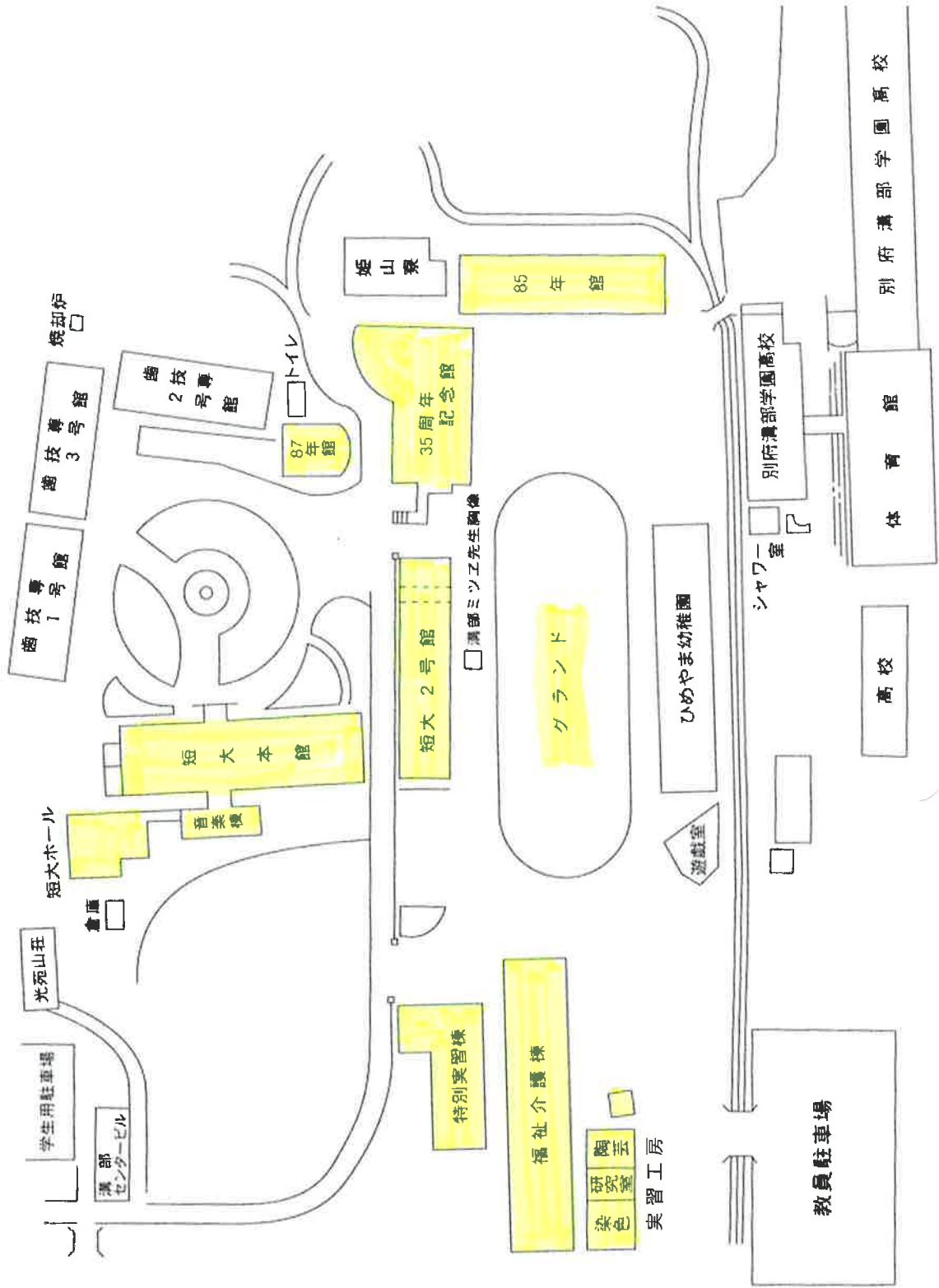
■大分空港より

空港連絡バス「エアライナー」30分 「亀川駅前」下車→徒歩12分

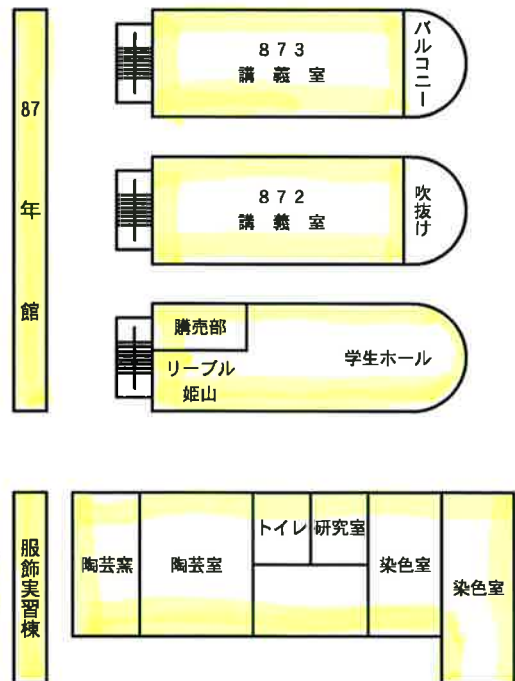
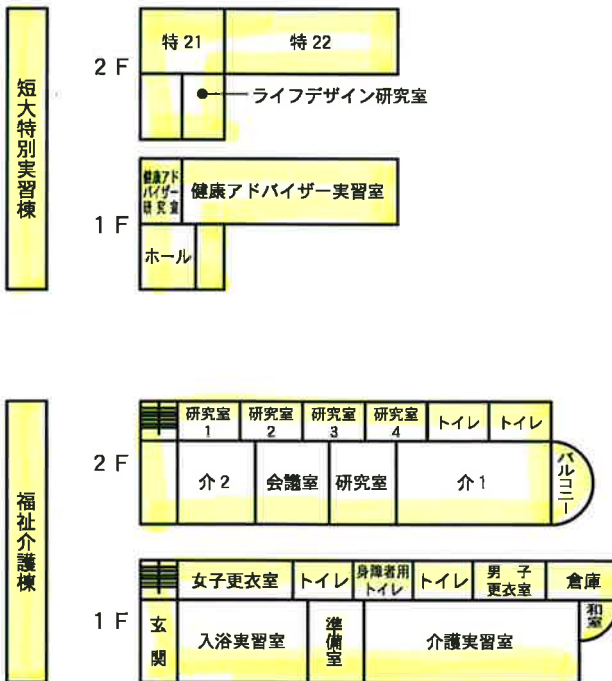
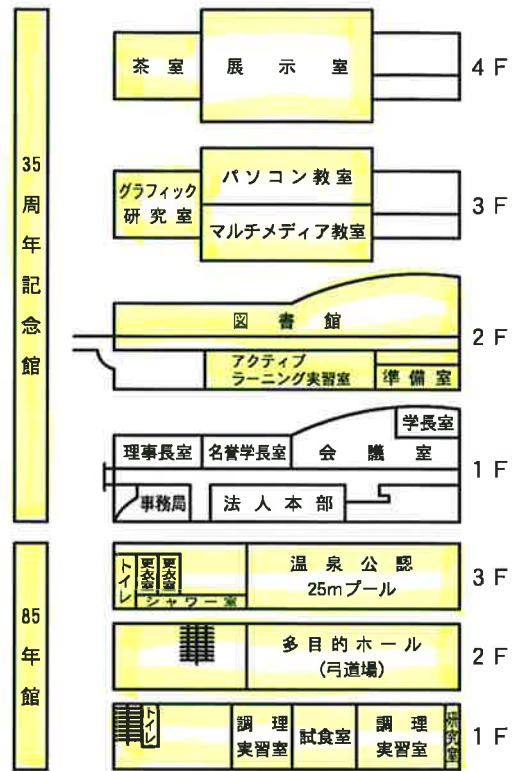
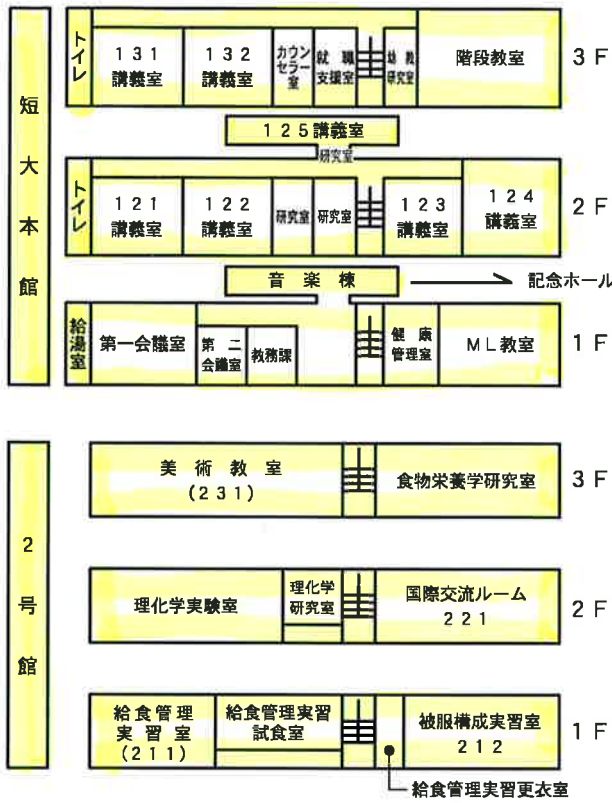
■別府国際観光港より

大分交通バス亀川行き10分「亀川新川」下車→徒歩10分

学園キャンパス



教室配置図



教室等ごとの面積一覧表(別府溝部学園短期大学)

建物	教室名	面積(m ²)	面積比率	使用学科(使用学生数)				備考
				デザイン総合学科	食物栄養学科	幼児教育学科	介護福祉学科	
短大本館 (千円) 49,392	健康管理室	35.00	2.24%	150	80	100	70	
	教務課	35.00	2.24%	150	80	100	70	
	教員室1	70.00	4.48%	150	80	100	70	
	教員室2	35.00	2.24%	150	80	100	70	
	ML教室	135.00	8.64%			100		
	1F廊下・トイレ	175.88	11.26%	150	80	100	70	
	121教室	140.00	8.96%	150	80	100	70	
	122教室	70.00	4.48%	150	80	100	70	
	123教室	70.00	4.48%	150	80	100	70	
	124教室	70.00	4.48%	150	80	100	70	
	2F廊下・トイレ	205.88	13.18%	150	80	100	70	
	131教室	70.00	4.48%	150	80	100	70	
	132教室	70.00	4.48%	150	80	100	70	
	学生相談室	17.50	1.12%	150	80	100	70	
	就職指導室	17.50	1.12%	150	80	100	70	
	階段教室	135.00	8.64%	150	80	100	70	
	3F廊下・トイレ	210.88	13.50%	150	80	100	70	
	小計	1,562.64	100.00%					
	実習棟 (千円) 71,672	1Fレッスン室	91.30	29.00%			100	
1F講師室		30.17	9.58%			100		
1F廊下		41.89	13.30%			100		
2F廊下・倉庫		24.00	7.62%			100		
125教室		127.00	40.49%			100		
小計		314.36	100.00%					
短大2号館 (千円) 11,030	被服実習室1	81.88	9.22%	150				
	被服実習室2	81.88	9.22%	150			70	
	集団給食室厨房	84.18	9.47%		80			
	学生食堂	84.18	9.47%	150	80	100	70	
	1F玄関・トイレ	52.02	5.85%	150	80	100	70	
	理化学実験室	84.18	9.47%		80			
	理化学実験室準備室	65.88	7.41%		80			
	2F廊下・トイレ	52.02	5.85%	150	80	100	70	
	栄養学演習室	81.88	9.22%		80		70	
	美術教室	168.36	18.95%	150		100		
	3F廊下・トイレ	52.02	5.85%	150	80	100	70	
	小計	888.48	100.00%					
記念館 (千円) 205,092	事務局(会計課)	153.46	7.99%	150	80	100	70	
	管理室	277.92	14.46%	150	80	100	70	
	1F玄関・トイレ	183.15	9.53%	150	80	100	70	
	LL教室	124.30	6.47%	150	80	100	70	
	LL教室準備室	25.30	1.32%	150	80	100	70	
	パソコン教室1	124.30	6.47%	150	80	100	70	
	パソコン教室2	124.30	6.47%	150	80	100	70	
	パソコン準備室	34.11	1.78%	150	80	100	70	
	2F廊下・トイレ	173.12	9.01%	150	80	100	70	
	3F廊下・トイレ	80.34	4.18%	150	80	100	70	
	作品展示室	385.91	20.08%	150	80	100	70	
	茶室	34.08	1.77%	150	80	100	70	
	図書館	201.33	10.48%	150	80	100	70	
	小計	1,921.62	100.00%					
85年館 (千円) 207,192	1F玄関・トイレ	123.80	8.10%	150	80	100	70	
	調理実習室1	193.70	12.67%	150	80		70	
	試食室	90.85	5.94%	150	80		70	
	調理実習室2	98.90	6.47%	150	80		70	
	学生集会室	501.82	32.83%	150	80	100	70	
	2F廊下	20.80	1.36%	150	80	100	70	
	3F廊下・トイレ	89.68	5.87%	150	80	100	70	
	プール	408.84	26.75%	150	80	100	70	
小計	1,528.39	100.00%						
87年館 (千円) 69,539	学生ホール	131.83	30.70%	150	80	100	70	
	1Fトイレ	58.64	13.65%	150	80	100	70	
	872教室	100.00	23.28%	150	80	100	70	
	873教室	100.00	23.28%	150	80	100	70	
	2F廊下	19.50	4.54%	150	80	100	70	
	3F廊下	19.50	4.54%	150	80	100	70	
小計	429.47	100.00%						
特別実習棟 (千円) 98,061	1F玄関・トイレ	90.00	15.91%	150	80			
	健康アドバイザー室	192.00	33.95%		80			
	被服演習室	283.60	50.14%	150				
	小計	565.60	100.00%					
工芸室 (千円) 16,367	陶芸演習室	80.50	30.28%	150				
	染色演習室	152.60	57.40%	150				
	玄関・廊下	32.77	12.33%	150				
	小計	265.87	100.00%					
体育館 (千円) 13,742	体育館	309.68	100.00%	150	80	100	70	
	小計	309.68	100.00%					
寄宿舎 (千円) 57,398	橘寮	1,500.97	70.07%					
	留学生寮	641.12	29.93%					
	小計	2,142.09	100.00%					

溝学第 292号
令和7年3月25日

文部科学大臣 殿

別府溝部学園短期大学
学長 溝部 仁

別府溝部学園短期大学の学則変更について（届出）

このたび、下記の事項について、大学の設置等の認可の申請及び届出に係る手続等に関する規則により、別紙書類を添えて届け出ます。

記

1. 学則の変更（新旧対照表）
2. 変更の事由及び時期
3. 学則

以上

担当

別府溝部学園短期大学教務課
課長 牧 昌生
TEL 0977-66-0224
FAX 0977-66-8120
mmaki@bm.mizobe.ac.jp

別府溝部学園短期大学学則の一部変更に伴う新旧対照表

新 (令和7年4月1日改訂)	旧 (令和6年4月1日改訂)																																											
第1条～第3条 略	第1条～第3条 略																																											
<p>(学生定員) 第4条 学生定員は次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">学 科</th> <th style="width: 15%;">入学定員</th> <th style="width: 15%;">収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ライフデザイン総合学科</td> <td>75名</td> <td>150名</td> </tr> <tr> <td>食物栄養学科</td> <td>40名</td> <td>80名</td> </tr> <tr> <td>幼児教育学科</td> <td>50名</td> <td>100名</td> </tr> <tr> <td>介護福祉学科</td> <td>35名</td> <td>70名</td> </tr> </tbody> </table>	学 科	入学定員	収容定員	ライフデザイン総合学科	75名	150名	食物栄養学科	40名	80名	幼児教育学科	50名	100名	介護福祉学科	35名	70名	<p>(学生定員) 第4条 学生定員は次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">学 科</th> <th style="width: 15%;">入学定員</th> <th style="width: 15%;">収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ライフデザイン総合学科</td> <td>60名</td> <td>120名</td> </tr> <tr> <td>食物栄養学科</td> <td>40名</td> <td>80名</td> </tr> <tr> <td>幼児教育学科</td> <td>70名</td> <td>140名</td> </tr> <tr> <td>介護福祉学科</td> <td>30名</td> <td>60名</td> </tr> </tbody> </table>	学 科	入学定員	収容定員	ライフデザイン総合学科	60名	120名	食物栄養学科	40名	80名	幼児教育学科	70名	140名	介護福祉学科	30名	60名													
学 科	入学定員	収容定員																																										
ライフデザイン総合学科	75名	150名																																										
食物栄養学科	40名	80名																																										
幼児教育学科	50名	100名																																										
介護福祉学科	35名	70名																																										
学 科	入学定員	収容定員																																										
ライフデザイン総合学科	60名	120名																																										
食物栄養学科	40名	80名																																										
幼児教育学科	70名	140名																																										
介護福祉学科	30名	60名																																										
<p>第5条～43条 略</p> <p>付 則 一部省略 この学則は、令和4年4月1日より施行する。 この学則は、令和5年4月1日より施行する。 この学則は、令和6年4月1日より施行する。 この学則は、令和7年4月1日より施行する。</p> <p>付 則 前項の規定にかかわらず、改正後の第4条に規定する各年度における学生定員は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">区分</th> <th style="width: 30%;">学 科</th> <th style="width: 15%;">入学定員</th> <th style="width: 15%;">収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">令和6年度</td> <td>ライフデザイン総合学科</td> <td>60名</td> <td>120名</td> </tr> <tr> <td>食物栄養学科</td> <td>40名</td> <td>80名</td> </tr> <tr> <td>幼児教育学科</td> <td>70名</td> <td>140名</td> </tr> <tr> <td>介護福祉学科</td> <td>30名</td> <td>60名</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">令和7年度</td> <td>ライフデザイン総合学科</td> <td>75名</td> <td>135名</td> </tr> <tr> <td>食物栄養学科</td> <td>40名</td> <td>80名</td> </tr> <tr> <td>幼児教育学科</td> <td>50名</td> <td>120名</td> </tr> <tr> <td>介護福祉学科</td> <td>35名</td> <td>65名</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">令和8年度</td> <td>ライフデザイン総合学科</td> <td>75名</td> <td>150名</td> </tr> <tr> <td>食物栄養学科</td> <td>40名</td> <td>80名</td> </tr> <tr> <td>幼児教育学科</td> <td>50名</td> <td>100名</td> </tr> <tr> <td>介護福祉学科</td> <td>35名</td> <td>70名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	学 科	入学定員	収容定員	令和6年度	ライフデザイン総合学科	60名	120名	食物栄養学科	40名	80名	幼児教育学科	70名	140名	介護福祉学科	30名	60名	令和7年度	ライフデザイン総合学科	75名	135名	食物栄養学科	40名	80名	幼児教育学科	50名	120名	介護福祉学科	35名	65名	令和8年度	ライフデザイン総合学科	75名	150名	食物栄養学科	40名	80名	幼児教育学科	50名	100名	介護福祉学科	35名	70名	<p>第5条～43条 略</p> <p>付 則 一部省略 この学則は、令和4年4月1日より施行する。 この学則は、令和5年4月1日より施行する。 この学則は、令和6年4月1日より施行する。</p>
区分	学 科	入学定員	収容定員																																									
令和6年度	ライフデザイン総合学科	60名	120名																																									
	食物栄養学科	40名	80名																																									
	幼児教育学科	70名	140名																																									
	介護福祉学科	30名	60名																																									
令和7年度	ライフデザイン総合学科	75名	135名																																									
	食物栄養学科	40名	80名																																									
	幼児教育学科	50名	120名																																									
	介護福祉学科	35名	65名																																									
令和8年度	ライフデザイン総合学科	75名	150名																																									
	食物栄養学科	40名	80名																																									
	幼児教育学科	50名	100名																																									
	介護福祉学科	35名	70名																																									

学則の一部変更事由及び変更時期

※下記のすべてにつき、令和7年4月1日より全学年に適用する。

1. (学生定員) 第4条 の変更理由

本学、ライフデザイン総合学科、幼児教育学科、介護福祉学科の入学定員・収容定員の変更のため

2. 付則 の変更理由

学則第3条の変更に伴う年次の収容定員の推移を明確にするため。

		日本語検定対策H	2	廃止
日本語中上級A	1			新設
日本語中上級B	1			新設
日本語中上級C	1			新設
日本語中上級D	1			新設
日本語中上級E	1			新設
日本語中上級F	1			新設
日本語中上級G	1			新設
日本語中上級H	1			新設
日本語能力試験対策Ⅲ（聴解）	1			新設
日本語能力試験対策Ⅲ（文字語彙）	1			新設
日本語能力試験対策Ⅲ（文法）	1			新設
日本語能力試験対策Ⅲ（読解）	1			新設
日本語上級G	1	日本語上級G	2	単位数変更
日本語上級H	1	日本語上級H	2	単位数変更
日本語能力試験対策Ⅳ（聴解）	1			新設
日本語能力試験対策Ⅳ（文字語彙）	1			新設
日本語能力試験対策Ⅳ（文法）	1			新設
日本語能力試験対策Ⅳ（読解）	1			新設
ビジネス実務演習	1	ビジネス実務演習Ⅰ	1	科目名称変更
		ビジネス実務演習Ⅱ	1	廃止
		ビジネス文書	1	廃止
		会計学	2	廃止
ファイナンス論	2			新設
		簿記Ⅱ	2	廃止
管理会計論	2	原価計算論	2	科目名称変更
経営学総論	2			新設
		グローバルマーケティング	2	廃止
		マーケティング演習	2	廃止
		企業法	2	廃止
日本語中上級E	1	日本語中上級E	2	単位数変更
日本語中上級F	1	日本語中上級F	2	単位数変更
日本語中上級G	1	日本語中上級G	2	単位数変更
日本語上級E	1	日本語上級E	2	単位数変更
日本語上級F	1	日本語上級F	2	単位数変更
		日本語上級G	2	廃止
		日本語検定対策A	1	廃止
		日本語検定対策B	1	廃止
		日本語検定対策C	1	廃止
		日本語検定対策D	1	廃止
		日本語検定対策E	2	廃止
		日本語検定対策F	2	廃止
実践日本語G	1			新設
実践日本語H	1			新設
		おもてなし温泉学演習	2	廃止
		温泉コンシェルジュ演習	1	廃止
		温泉コンシェルジュ応用	2	廃止
温泉医療療養指導論	1	温泉医療療養指導	1	科目名称変更
温泉入浴指導概論	1	温泉入浴指導員養成講座	1	科目名称変更
新（令和7年4月1日改訂）		旧（令和6年4月1日改訂）		
科 目		科 目		
2 食物栄養学科	単位数	2 食物栄養学科	単位数	備考
		介護保険	2	廃止
		健康運動指導論	2	廃止
		アクアエクササイズ	1	廃止
		健康マネジメント論	1	廃止
		高齢者心理学	1	廃止
		介護事務演習	1	廃止
		おもてなし温泉学演習	2	廃止
		温泉コンシェルジュ演習	2	廃止
		温泉コンシェルジュ応用	2	廃止
		日本の文化・着付けⅠ	1	廃止
		日本の文化・着付けⅡ	1	廃止
		日本の文化・茶道	1	廃止
		ビジネス実務演習Ⅰ	1	廃止

		ビジネス実務演習Ⅱ	1	廃止
		ビジネス文書	1	廃止
		DTP基礎	1	廃止
		フォトレタッチソフトウェア演習	1	廃止
		プリプレス演習	1	廃止
		写真Ⅰ	2	廃止
		写真Ⅱ	2	廃止
温泉医療療養指導論	1	温泉医療療養指導	1	科目名称変更
温泉入浴指導概論	1	温泉入浴指導員養成講座	1	科目名称変更
食とこころ	2	食とこころ	1	単位数変更
		経済学入門	2	新設
		社会貢献演習Ⅲ	1	新設
		社会貢献演習Ⅳ	1	新設
総合日本語A	2			新設
総合日本語B	2			新設
総合日本語C	2			新設
総合日本語D	2			新設
総合日本語E	2			新設
総合日本語F	2			新設
総合日本語G	1			新設
総合日本語H	1			新設
総合日本語I	1			新設
日本語能力試験対策Ⅰ（聴解）	1			新設
日本語能力試験対策Ⅰ（文字語彙）	1			新設
日本語能力試験対策Ⅰ（文法）	1			新設
日本語能力試験対策Ⅰ（読解）	1			新設
		日本語初級A	2	廃止
		日本語初級B	2	廃止
		日本語初級C	2	廃止
		日本語初級D	2	廃止
		日本語初級E	2	廃止
		日本語初級F	2	廃止
		日本語初級G	2	廃止
		日本語初級H	2	廃止
日本語中級E	1	日本語中級E	2	単位数変更
日本語中級F	1	日本語中級F	2	単位数変更
日本語中級G	1	日本語中級G	2	単位数変更
		日本語中級H	2	廃止
日本語能力試験対策Ⅱ（聴解）	1			新設
日本語能力試験対策Ⅱ（文字語彙）	1			新設
日本語能力試験対策Ⅱ（文法）	1			新設
日本語能力試験対策Ⅱ（読解）	1			新設
		日本語検定対策A	2	廃止
		日本語検定対策B	2	廃止
		日本語検定対策C	2	廃止
		日本語検定対策D	2	廃止
		日本語検定対策E	2	廃止
		日本語検定対策F	2	廃止
		日本語検定対策G	2	廃止
		日本語検定対策H	2	廃止
日本語中上級A	1			新設
日本語中上級B	1			新設
日本語中上級C	1			新設
日本語中上級D	1			新設
日本語中上級E	1			新設
日本語中上級F	1			新設
日本語中上級G	1			新設
日本語中上級H	1			新設
日本語能力試験対策Ⅲ（聴解）	1			新設
日本語能力試験対策Ⅲ（文字語彙）	1			新設
日本語能力試験対策Ⅲ（文法）	1			新設
日本語能力試験対策Ⅲ（読解）	1			新設
日本語上級G	1	日本語上級G	2	単位数変更
日本語上級H	1	日本語上級H	2	単位数変更
日本語能力試験対策Ⅳ（聴解）	1			新設
日本語能力試験対策Ⅳ（文字語彙）	1			新設
日本語能力試験対策Ⅳ（文法）	1			新設
日本語能力試験対策Ⅳ（読解）	1			新設
		おもてなし温泉学演習	2	廃止

		温泉コンシェルジュ演習	1	廃止
		温泉コンシェルジュ応用	2	廃止
温泉医療療養指導論	1	温泉医療療養指導	1	科目名称変更
温泉入浴指導概論	1	温泉入浴指導員養成講座	1	科目名称変更
新 (令和7年4月1日改訂)		旧 (令和6年4月1日改訂)		
科 目		科 目		
3 幼児教育学科	単位数	3 幼児教育学科	単位数	備考
幼稚園教育実習指導Ⅰ	1			新設
幼稚園教育実習指導Ⅱ	1			新設
こども音楽療育概論	2			新設
こども音楽療育演習	1			新設
こども音楽療育実習	1			新設
社会貢献演習Ⅲ	1			新設
社会貢献演習Ⅳ	1			新設
こどもの言語表現	1			新設
こどもの身体表現	1			新設
こどもの造形表現	1			新設
保育・教育の計画と文書	2			新設
基礎音楽	1			新設
音楽	1			新設
演奏表現	1			新設
こどもの音楽表現	1			新設
保育表現技術	1			新設
人間の尊厳と自立	2			新設
人間関係とコミュニケーション	4			新設
社会の理解Ⅰ	2			新設
社会の理解Ⅱ	2			新設
現代社会論	2			新設
社会福祉概論	2			新設
社会薬理学	2			新設
介護の基本Ⅰ	4			新設
介護の基本Ⅱ	4			新設
リハビリテーション論	2			新設
介護保険	2			新設
コミュニケーション技術Ⅰ	1			新設
コミュニケーション技術Ⅱ	1			新設
生活支援技術Ⅰ-A	1			新設
生活支援技術Ⅰ-B	1			新設
生活支援技術Ⅱ-A	2			新設
生活支援技術Ⅱ-B	2			新設
生活支援技術Ⅲ	2			新設
家政学実習	2			新設
生活支援実習	2			新設
介護過程Ⅰ	1			新設
介護過程Ⅱ	1			新設
介護過程Ⅲ	2			新設
介護過程Ⅳ	1			新設
介護総合演習Ⅰ	1			新設
介護総合演習Ⅱ	1			新設
介護総合演習Ⅲ	1			新設
介護総合演習Ⅳ	1			新設
介護実習Ⅰ-1	2			新設
介護実習Ⅰ-2	3			新設
介護実習Ⅱ	5			新設
心理学	2			新設
発達と老化の理解	2			新設
認知症の理解Ⅰ	2			新設
認知症の理解Ⅱ	2			新設
障害の理解Ⅰ	2			新設
障害の理解Ⅱ	2			新設
こころとからだのしくみⅠ-A	2			新設
こころとからだのしくみⅠ-B	2			新設
こころとからだのしくみⅡ	2			新設
こころとからだのしくみⅢ	2			新設
医療的ケアⅠ-A	2			新設
医療的ケアⅠ-B	2			新設

医療的ケアⅡ	2		新設
介護のことばⅠ	2		新設
介護のことばⅡ	2		新設
日本語中上級A	1		新設
日本語中上級B	1		新設
日本語中上級C	1		新設
日本語中上級D	1		新設
日本語中上級E	1		新設
日本語中上級F	1		新設
日本語上級A	1		新設
日本語上級B	1		新設
日本語上級C	1		新設
日本語上級D	1		新設
日本語上級E	1		新設
日本語上級F	1		新設
日本語能力試験対策Ⅰ（聴解）	1		新設
日本語能力試験対策Ⅰ（文字語彙）	1		新設
日本語能力試験対策Ⅰ（文法）	1		新設
日本語能力試験対策Ⅰ（読解）	1		新設
日本語能力試験対策Ⅱ（聴解）	1		新設
日本語能力試験対策Ⅱ（文字語彙）	1		新設
日本語能力試験対策Ⅱ（文法）	1		新設
日本語能力試験対策Ⅱ（読解）	1		新設
介護の日本語A	2		新設
介護の日本語B	2		新設
介護の日本語C	2		新設
介護の日本語D	2		新設
ビジネスマナー	2		新設
日本の文化	1		新設
日本事情Ⅰ	2		新設
日本事情Ⅱ	2		新設
卒業研究	3		新設
介護事務演習	1		新設
福祉レクリエーション論	2		新設
福祉レクリエーション援助技術	2		新設
福祉レクリエーション援助論	2		新設
福祉環境論	2		新設
レクリエーション論	2		新設
レクリエーション活動援助法Ⅰ	1		新設
レクリエーション活動援助法Ⅱ	1		新設
ボランティア概論	2		新設
ボランティア演習	4		新設
福祉総合演習Ⅰ	3		新設
福祉総合演習Ⅱ	3		新設
インターンシップⅠ	1		新設
インターンシップⅡ	1		新設
インターンシップⅢ	2		新設
インターンシップⅣ	2		新設
新（令和7年4月1日改訂）		旧（令和6年4月1日改訂）	
科 目		科 目	備考
4 介護福祉学科	単位数	4 介護福祉学科	単位数
日本語中上級E	1	日本語中上級E	2 単位数変更
日本語中上級F	1	日本語中上級F	2 単位数変更
		日本語中上級G	2 廃止
日本語上級E	1	日本語上級E	2 単位数変更
日本語上級F	1	日本語上級F	2 単位数変更
日本語能力試験対策Ⅰ（聴解）	1		新設
日本語能力試験対策Ⅰ（文字語彙）	1		新設
日本語能力試験対策Ⅰ（文法）	1		新設
日本語能力試験対策Ⅰ（読解）	1		新設
日本語能力試験対策Ⅱ（聴解）	1		新設
日本語能力試験対策Ⅱ（文字語彙）	1		新設
日本語能力試験対策Ⅱ（文法）	1		新設
日本語能力試験対策Ⅱ（読解）	1		新設

別府溝部学園短期大学 学則

第1章 総則

(目 的)

第1条 本学は、教育基本法及び学校教育法に従い、別府溝部学園短期大学の建学の精神である「自立・自活できる人材の育成」を基本目的とし、ライフデザイン、食物栄養、幼児教育及び介護福祉に関して深く専門的な学術を研究するとともに、職業に必須の教育を授け、豊かな教育と優秀な技能とを有し、かつ極めてよき指導者として有為な人材を育成し、民主主義社会における文化の創造進展に寄与することと併に、地域振興に貢献できる人材の育成を目的とする。

(自己点検・評価、認証評価)

第1条の2 本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自己点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の点検及び評価を行うにあたり、その項目及び体制については別に定める。

3 本学は、教育研究活動等の状況について、一定期間ごとに認証評価(文部科学大臣の認証を受けた評価機関による評価)を受けるものとする。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第1条の3 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

2 前項の研修及び研究を推進するために、本学に研修組織を置く。

3 前項の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、その職員の知識・技能並びにその能力・資質の向上を図るための研修を実施する。

4 研修組織に関する規程は、別に定める。

(情報の積極的な提供)

第1条の4 本学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする。

(名 称)

第2条 本学は、別府溝部学園短期大学と称する。

2 本学は、大分県別府市大字野田78番地に置く。

第2章 学 科

(学 科)

第3条 本学に、ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、幼児教育学科及び介護福祉学科を置く。

第3条の2 前項の各学科における人材の育成に関する目的は、次のとおりとする。

1 ライフデザイン総合学科

自立した個の確立を目指して、人生や生活をデザインすることに関連する専門を学修し、関連する人材を養成する。

2 食物栄養学科

食物栄養に関する専門を学修し、関連する人材を養成する。

3 幼児教育学科

幼児教育及び保育に関する専門の学芸を学修し、関連する人材を養成する。

4 介護福祉学科

介護福祉に関する専門を学修し、関連する人材を養成する。

第3章 学生定員及び修業年限

(学生定員)

第4条 学生定員は次のとおりとする。

学 科	入学定員	収容定員
ライフデザイン総合学科	75名	150名
食物栄養学科	40名	80名
幼児教育学科	50名	100名
介護福祉学科	35名	70名

(修業年限)

第5条 ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、幼児教育学科及び介護福祉学科の修業年限は2年とする。ただし、在学年限は4年をこえてはならない。

2 別に定める長期履修学生の修業年限および在学年限は6年とする。但し、学長が特別な事由があると認めた場合は、年限を超えることができる。

3 協定を締結している国内及び外国の大学等の教育機関での留学期間は、前項の修業年限に算入する。

第4章 学年・学期及び休業日

(学 年)

第6条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 前項に規定する学年の途中においても、学期の区分に従い、学生を入学させ及び卒業させることができる。

(授業期間及び学期)

第7条 1年間の授業を行う期間は、試験やガイダンス等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

2 学年を分けて次の二期とする。

春学期（各年次第1セメスター） 4月1日から9月30日まで

秋学期（各年次第2セメスター） 10月1日から翌年3月31日まで

3 前項に定める各学期は、前半及び後半に分けることができる。

春学期前半（各年次第1クォーター）

春学期後半（各年次第2クォーター）

秋学期前半（各年次第3クォーター）

秋学期後半（各年次第4クォーター）

4 学長が必要と認めるときは、前項の期間を変更することができる。

(休業日)

第8条 休業日は次のとおりとする。

- 1) 国民の祝日（昭和 23 年法律第 178 号）
 - 2) 日 曜 日
 - 3) 開学記念日（4 月 20 日）
 - 4) 春期休業（3 月 21 日から 3 月 31 日まで）
 - 5) 夏期休業（8 月 10 日から 9 月 15 日まで）
 - 6) 冬期休業（12 月 22 日から翌年 1 月 7 日まで）
- 2 臨時の休業日は、そのつど学長が定める。
- 3 第 1 項の休業日であっても学長が必要と認めるときは、授業を行うことができる。

第 5 章 授業科目及び単位数

（授業科目及び単位数）

第 9 条 授業科目は、基礎科目、外国語科目、体育科目の 3 区分と専門教育科目および職業に関する科目に類別する。なお、単位数は別表に掲げるとおりとする。

2 前項に規定するものの他、教育上必要があるときは、授業科目を特設し開講することがある。

第 6 章 履修方法・卒業資格の取得

（単位の修得）

第 10 条 学生は、第 5 条に規定する期間在学し、基礎科目については、計 8 単位以上、外国語科目については 2 単位、体育科目については 2 単位、専門教育科目については、50 単位以上、計 62 単位以上を修得しなければならない。但し、介護福祉学科は 71 単位とする。

2 一年間に登録できる単位数の上限は 45 単位とする。但し、職業に関する科目及び休暇中に開講する科目は除く。

3 各学期の卒業必須科目の単位を優れた成績をもって修得した学生については、前項に定める上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。

（免許資格の取得）

第 10 条の 2 本学の各学科において取得できる教育職員免許状の種類は、食物栄養学科においては、栄養教諭二種免許状、幼児教育学科においては、幼稚園教諭二種免許状とする。

2 本学の各学科において取得できる資格の種類は、次のとおりとする。

1) ライフデザイン総合学科については、ファッションアドバイザー課程履修証明書、ブライダルアシスタントコーディネーター課程履修証明書、DTP デザイナー課程履修証明書、Web デザイナー課程履修証明書、医療秘書実務士資格、介護保険実務士資格、診療情報管理実務士資格、医事実務士、医事コンピュータ実務課程、ICD コーディング実務課程、電子カルテ実務課程、介護職員初任者研修修了証、手話講習会入門課程、情報処理士、ビジネス実務士及び社会福祉主事任用資格とする。

2) 食物栄養学科については、栄養士課程履修証明書、健康アドバイザー課程履修証明書、保育栄養アドバイザー課程履修証明書、医療秘書実務士資格、介護保険実務士資格、医事実務士、介護職員初任者研修修了証、温泉コンシェルジュ課程修了証及び社会福祉主事任用資格とする。

3) 幼児教育学科については、保育士資格取得証明書、ピアヘルパー受験資格、レクリエーション・インストラクター資格及び社会福祉主事任用資格とする。

4) 介護福祉学科については、介護福祉士課程履修証明書、レクリエーション・インストラクター資格、福祉レクリエーションワーカー受験資格、介護保険実務士資格及び社会福祉主事任用資格とする。

3 本条第1項に規定する教育職員免許状を取得しようとする者は、第10条に規定する単位のほか、教育職員免許法及び同法施行規則に定める科目を履修し単位を修得しなければならない。

4 本条第2項に規定する資格証明書を取得しようとする者は、第10条に規定する単位を含め、ファッションアドバイザー課程履修証明書、ビューティアドバイザー課程履修証明書、DTP デザイナー課程履修証明書、Web デザイナー課程履修証明書、健康アドバイザー課程履修証明書及び保育栄養アドバイザー課程履修証明書については、本学が定める科目、栄養士課程履修証明書については、栄養士法、同法施行令及び施行規則に定める科目、介護福祉士については、社会福祉士及び介護福祉士法、同法施行規則に定める科目、保育士資格取得証明書については、児童福祉法施行規則に定める科目、社会福祉主事任用資格については社会福祉事業法に定める科目より3科目、レクリエーション・インストラクター、福祉レクリエーションワーカー受験資格、医療秘書実務士資格、介護保険実務士資格、診療情報管理実務士資格についてはそれぞれ指定された科目を履修し単位を修得しなければならない。

5 第10条の2に規定する、免許・資格・修了証に関する教育課程、組織については別に定める

(単位の計算方法)

第11条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定める授業科目については30時間の授業をもって1単位とする。

2) 演習については、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定める授業科目については15時間の授業をもって1単位とする。

3) 実験、実習及び実技については、45時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定める授業科目については30時間の授業をもって1単位とする。

4) 前項の規定にかかわらず、卒業研究、卒業制作等の授業については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めるものとする。

(単位修得の認定)

第12条 各科目の単位修得の認定方法は、教授会の議にもとづき、学長がこれを定める。

(単位の互換)

第12条の2 国内又は外国の大学又は短期大学において履修取得した単位について、教育上有益と認めるときは、30単位を超えない範囲において、本学において修得したものと認定することができる。

2 本学は、教育上有益と認めるときは、他の短期大学又は高等専門学校の特攻科におけ

る学修、その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、前項により修得した単位数と合わせて 30 単位を超えない範囲で与えることができる。

3 本学入学以前に、本学において履修した単位について、教育上有益と認めるときは、15 単位を超えない範囲において、本学において修得したものとして認定することができる。

(交換留学・ダブルディグリー留学)

第 12 条の 3 本学と学生交換に関する協定のある外国の大学等の教育機関の授業科目の履修を希望する者があるときは、学長が本人の教育上有益であると認めた場合にかぎり、交換留学、ダブルディグリー留学としてこれを許可することができる。

2 交換留学、ダブルディグリー留学の期間は 1 学期間以上とし、その期間を本大学における修業年数に算入することができる。

3 交換留学、ダブルディグリー留学に関する規程は別に定める。

(卒業及び学位授与)

第 13 条 第 5 条に規定する期間在学し、所定の授業料等を納入し、所定の科目及び単位を修得し、かつ、別に定める学位授与の方針（ディプロマポリシー）を満たした者には、卒業証書を授与する。

2 前項により卒業証書を授与された者は、短期大学士の学位を授与する。付記する専攻分野の名称は次のとおりとする。

ライフデザイン総合学科	短期大学士（ライフデザイン ファッション）
	短期大学士（ライフデザイン グラフィック）
	短期大学士（ライフデザイン 医療情報）
	短期大学士（ライフデザイン 日本語）
	短期大学士（ライフデザイン ビジネス・観光）
食物栄養学科	短期大学士（食物栄養）
幼児教育学科	短期大学士（幼児教育）
介護福祉学科	短期大学士（介護福祉）

3 前項の学位の名称を用いるときは、「別府溝部学園短期大学」と付記するものとする。

4 ダブルディグリー協定を締結している大学等間で、所定の要件を満たした者には、卒業証書を授与する。

第 7 章 入学・退学・転学・転入学・休学・復学及び除籍

(入学の時期)

第 14 条 入学の時期は、春学期又は秋学期の始めとする。

(入学の資格)

第 15 条 本学に入学することができる者は、次の各号の一に該当するものでなければならない。

- 1) 高等学校を卒業した者
- 2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに該当する学校教育を修了した者を含む）
- 3) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者
- 4) 文部科学大臣の指定した者（昭和 23 年文部省告示第 47 号）
- 5) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校

卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む）

6) 本学において、相当の年齢に達し、高等教育を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。

（入学志願手続）

第 16 条 入学志願者は、所定の入学願書等に受験料を添え、別に定める手続により出願しなければならない。

（入学許可）

第 17 条 入学志願者に対しては、学科試験を行う。ただし、出身学校長の推薦による者については、学科試験を免除し、面接試験を行うことができる。

2) 専門高校、専門学科及び総合学科卒業生の選抜に関する事項は、別に定める。

3) 社会人の選抜に関する事項は、別に定める。

4) 前項の他による選抜に関する事項は、別に定める。

5) 前項による選考は教授会がこれを行い、学長が入学を許可する。

（長期履修学生）

第17条の2 第5条第2項に定める修業年限による授業科目を履修することを目的として、本学に入学を志願する者がいるときは、選考の上、長期履修学生として入学を許可する。

2 長期履修学生について必要な事項は別に定める。

（入学手続）

第 18 条 入学を許可された者は、所定の期日までに、次の書類を提出し、かつ、所定の入学金を納入しなければならない。

1) 誓約書

2) その他本学所定の書類

（入学許可の取消）

第 19 条 学長は、正当な理由がなく、前条の手続を行わない者については、入学許可を取消することができる。

（保証人）

第 20 条 保証人は、親族又は独立の生計を営む成年者とし、在学中の在籍に関する状況に連携を保つ事とする。そして、校納金債務の極度額は、本学規程に定める額とする。

2 保証人に異動があった場合、又は、保証人の住居に変更があったときは、その旨を学長に届け出なければならない。

（退学及び転学）

第 21 条 学生が退学又は転学しようとするときは、保証人連署のうえ、退学願または転学願を学長に提出し、その許可を受けなければならない。

（転入学及び転籍）

第 22 条 転入学及び転籍については、選考の上、相当年次に入学及び転籍を許可する事がある。

2 前項の規定により入学及び転籍を許可された者の既に修得した授業科目及び単位数の取り扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

（休学及び復学）

第 23 条 学生が、病気その他やむを得ない事由のため、3ヶ月以上修学できないときは休学願を提出し、学長の許可を受けて、休学することができる。

- 2 病気による休学の場合は、医師の診断書を添えて願出しなければならない。
- 3 休学を許可する期間は、休学許可の日からその学年の学年末までとする。ただし、特別な事由があるときは、通算して1年以内において、翌学年にわたることができる。
- 4 学長が、特別な事由があると認めた場合は、前項の規定にかかわらず、休学許可期間を延長することができる。
- 5 休学許可期間は、在学年数に算入しない。

第24条 休学許可期間の中途において、休学の理由がなくなったときは、復学願を提出し、学長の許可を受けて復学することができる。

(除籍及び復籍)

第25条 次の各号の一つに該当する者は、教授会の議を経て学長が除籍することができる。

- 1) 第5条に定める在学期間を超えた者
 - 2) 第23条に規定する休学の期間が永年になった者
 - 3) 授業料その他の学納金の納付を怠り、督促してもなお納入しない者
 - 4) 長期間にわたり行方不明の者、又は、長期間無届けで欠席し、照会してもなお引き続き出席しない者
 - 5) 死亡した者
 - 6) 懲戒処分を受けた者
- 2 退学もしくは除籍された者のうち、次の場合にあつては、教授会の議を経て学長が復籍することができる。
- 1) 長期間にわたり行方不明により除籍された者が、復籍を願出した場合。
 - 2) 授業料等未納により除籍された者が、未納授業料等を納入し、復籍を願出した場合。
 - 3) 学長が、特別な事由があると認めた場合は、前項の規定にかかわらず、復籍を認めることができる。

第8章 入学金及び授業料等

(入学金及び授業料等)

第26条 入学金及び授業料等の額は次の通りとし、徴収方法等については別に定める。

- 1) 入 学 金 200,000 円
- 2) 授 業 料 600,000 円
- 3) 教育研究費 140,000 円
- 4) 教育環境費 140,000 円

(介護福祉学科は190,000円)

- 2 入学検定料については別に定める。

第9章 事務局及び学生部

(事務局及び学生部)

第27条 本学に、事務局及び学生部を置く。

- 2) 事務局及び学生部に関する事項は、別に定める。

第10章 教 職 員 組 織

(教職員組織)

第 28 条 本学に次の職員を置く。

- | | |
|----------|-----------|
| 1) 学 長 | 6) 助 教 |
| 2) 副 学 長 | 7) 助 手 |
| 3) 教 授 | 8) 事務職員 |
| 4) 准 教 授 | 9) その他の職員 |
| 5) 講 師 | |

2 前項の規定にかかわらず、名誉学長及び学長補佐をおくことができる。その選考は、別に定める。

3 副学長及び学長補佐は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどることとする。

4 本学は、教育研究活動等の組織的かつ効果的な運営を図るため、教員と事務職員等との適切な役割分担の下で、両者の連携体制を確保し、協働によりその職務が行われるよう留意するものとする。

第 11 章 教 授 会

(教授会)

第 29 条 本学に、教育研究に関する重要な事項を審議するため、教授会を置く。

なお、教授会は、学長が決定を行うに際して、意見を述べることができる組織とする。

2) 教授会は、学長、副学長、教授、准教授、講師、助教をもって組織する。ただし、学長が必要と認めた場合には、その他の職員を加えることができる。

3) 学長は、特別に指名した教職員をもって組織する常任教授会をおくことができる。常任教授会は、前項の教授会に代えることができる。

(審議事項)

第 30 条 教授会の審議事項は次のとおりとする。

- 1) 学則その他重要な規則の制定改廃に関する事項
- 2) 学科課程に関する事項
- 3) 学生定員並びに学生の入学、転入学、退学、休学、復学、除籍、復籍、卒業及び賞罰に関する事項
- 4) 学生の試験及び単位修得に関する事項
- 5) 学生の補導及び厚生に関する事項
- 6) 教授、准教授、講師、助教及び助手の教育研究等の業績審査に関する事項
- 7) 大学の運営に関する重要事項
- 8) その他法令に定めがある事項

(招集等)

第 31 条 学長は、教授会を招集し、その議長となる。

2) 学長に事故があるとき、又は、学長が欠けたときは、あらかじめ学長の指名する職員が前項の職務を代行する。

3) 教授会の構成員の 3 分の 1 以上の者から請求があるときは、学長は、教授会を招集しなければならない。

(定足数及び表決)

第 32 条 教授会は、構成員の 3 分の 2 以上の出席がなければ成立しない。

2) 教授会の会議の議事は、出席者の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長が決するところによる。

(その他)

第 33 条 本章に定めるもののほか、教授会の運営について必要な事項は、教授会の議を経て学長が定める。

第 12 章 科目等履修生・委託生及び外国人留学生

(科目等履修生・特別聴講学生)

第 34 条 本学所定の授業科目のうち、1 科目又は数科目を選んで履修を願い出た者があるときは、当該科目の授業に妨げのない限り、選考のうえ科目等履修生として入学を許可することができる。

2 科目等履修生に関して必要な事項は、別に定める。

3 他の大学等と単位互換協定等を締結した場合は、特別聴講学生としての受講をすることができる。

4 特別聴講学生に関して必要な事項は、別に定める。

(委託生)

第 35 条 公共機関その他から委託生として入学の申し出があったときは、別に定めるところにより、入学を許可することができる。

(外国人留学生)

第 36 条 外国人で本学に入学を希望する者に対しては、別に定めるところにより選考のうえ外国人留学生として入学を許可することができる。

第 37 条 科目等履修生、委託生及び外国人留学生については、別に定めるもののほか、本学学生に関する規定を準用する。

第 13 章 公開講座及び講座の開放

(公開講座)

第 38 条 本学は必要に応じて公開講座を開設又は既設の講座を開放し、地域社会の教養に資することができる。

2 公開講座・講座の開放に関する事項は別に定める。

第 14 章 寄宿舍及び厚生保健施設

(寄宿舍)

第 39 条 本学に、寄宿舍を設け、学生の入舎希望者を収容する。

2 寄宿舍に関する事項は、溝部学園寄宿舍舎則に定める。

(厚生保健施設)

第 40 条 本学に、厚生保健施設を設ける。

2) 厚生保健施設に関する事項は別に定める。

第 15 章 図 書 館

(附属図書館)

第 41 条 本学に、附属図書館を置く。

2 付属図書館に関する事項は、別に定める。

第16章 賞 罰

(表 彰)

第42条 学生が、学業性行が特に優良であると認められたとき、又は他の模範となる行為があったときは、学長はこれを表彰することができる。

(懲 戒)

第43条 学長は、教育上必要があると認めるときは、学生に退学・停学・訓告等の懲戒を加えることができる。

2 前項の退学は、次の各号の1に該当する者について行うことができる。

- 1) 性行不良で改善の見込みのない者
- 2) 学力劣等で成業の見込みのない者
- 3) 正当の理由がなく出席常でない者
- 4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

(学位授与の取消)

第44条 学長は、学位を授与された者が、不正の方法により学位を受けた事実が判明したとき、又はその名誉を汚辱する行為があったときは、教授会の議を経て当該学位を取消することができる。

2 学長は、前項の規定に基づき当該学位を取消したときは、学位記を返還させ、かつ、その旨を公表するものとする。

第17章 雑 則

(その他)

第45条 この学則の施行に関し必要なことは、別に定める。

付 則

この学則は、昭和39年4月1日より施行する。

この学則は、昭和41年4月1日より施行する。

この学則は、昭和43年4月1日より施行する。

この学則は、昭和47年4月1日より施行する。

この学則は、昭和49年4月1日より施行する。

この学則は、昭和50年4月1日より施行する。

この学則は、昭和51年4月1日より施行する。

この学則は、昭和52年4月1日より施行する。

この学則は、昭和54年4月1日より施行する。

この学則は、昭和55年4月1日より施行する。

この学則は、昭和57年4月1日より施行する。

この学則は、昭和58年4月1日より施行する。

この学則は、昭和 59 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、昭和 61 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、昭和 62 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、昭和 63 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成元年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 2 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 3 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 4 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 5 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 8 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 11 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 12 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 13 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 14 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 15 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 16 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 17 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 18 年 2 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 18 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 19 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 20 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 21 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 22 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 23 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 24 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 25 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 26 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 27 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 28 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 29 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 30 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、平成 31 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、令和 2 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、令和 3 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、令和 4 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、令和 5 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、令和 6 年 4 月 1 日より施行する。
この学則は、令和 7 年 4 月 1 日より施行する。

付則

前項の規定にかかわらず、改正後の第4条に規定する各年度における学生定員は、次のとおりとする。

区分	学 科	入学定員	収容定員
令和 6年度	ライフデザイン総合学科	60名	120名
	食物栄養学科	40名	80名
	幼児教育学科	70名	140名
	介護福祉学科	30名	60名
令和 7年度	ライフデザイン総合学科	75名	135名
	食物栄養学科	40名	80名
	幼児教育学科	50名	120名
	介護福祉学科	35名	65名
令和 8年度	ライフデザイン総合学科	75名	150名
	食物栄養学科	40名	80名
	幼児教育学科	50名	100名
	介護福祉学科	35名	70名

令和6年度
別府溝部学園短期大学
学 則
別表第1(第9条関係)

別表(学則第9条)

授業科目及び単位数

1 基礎科目(各学科共通)

科 目	単位数		摘 要
	必修	選択	
人 間 関 係 論		2	基礎科目より 8単位以上取得する
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論		2	
人 権 教 育 概 論		1	
人 権 教 育 概 論		2	
日 本 国 憲 法 学		2	
日 経 報 道 学		2	
情 報 科 学		2	
生 物 学		2	
化 学		2	
社 会 福 祉 学		2	
大 分 再 発 見 学		1	
大 分 の 人 と 学 問		2	
大 国 際 関 係 学		2	
社 会 貢 献 演 習 I	1		
社 会 貢 献 演 習 II		1	
キ ャ リ ア 教 育	1		
イ ン タ ー シ ッ プ		1	
日 本 語 表 現 論		2	
情 報 処 理 論		2	
リ ー ダ ー シ ッ プ		2	
日 本 事 情 I		2	
日 本 事 情 II		2	
ICT と 社 会		1	
ICT 基 礎	2		
ICT の 活 用	2		
ICT と 教 育	2		

2 外国語科目(各学科共通)

科 目	単位数		摘 要
	必修	選択	
英 語 I		1	2単位以上選択必修
英 語 II		1	
中 国 語 I		1	
中 国 語 II		1	

3 体育科目(各学科共通)

科 目	単位数		摘 要
	必修	選択	
運 動 ス ポ ー ツ I	1		2単位以上選択必修 幼稚園教諭二種免許・栄養教諭二種免許取得者は「生涯スポーツ」「体育実技」必修
運 動 ス ポ ー ツ II	1		
生 涯 ス ポ ー ツ	1		
体 育 実 技	1		

4 専門教育科目

1 ライフデザイン総合学科

ライフデザイン総合学科 1

科	目	単位数		卒業要件 単位数	摘 要
		必修	選択		
日本の文化	日本の文化・着付け I		1	50単位以上	
	日本の文化・着付け II		1		
	日本の文化・茶道		1		
クラフト 工芸	陶芸 I		2		
	陶芸 II		2		
	染色 I		2		
	染色 II		2		
ルビ ン デザイン	フォトタッチソフトウェア演習		1		
	レイアウトソフトウェア演習		1		
	日本の芸術・文化		2		
生活と福祉	介護概論		2		
	栄養学		2		
	介護の理解		2		
	介護保険		2		
	介護手話 I		1		
	介護手話 II		2		
ビジネス実務	事務管理		2		
	ビジネス実務総論		2		
	ビジネス実務文書		1		
	ビジネス実務演習 I		1		
	現代社会論		2		

	科 目	単位数		卒業要件 単位数	摘 要
		必修	選択		
情報処理	表 計 算 演 習 I		1	50単位以上	
	プレゼンテーション概論		2		
	表 計 算 演 習 II		1		
	情報ネットワーク論		2		
	情報処理演習		1		
ラジオ ニッポン	インターンシップ I		1		
	インターンシップ II		1		
	インターンシップ III		1		
	インターンシップ IV		1		
服飾製作	服飾構成演習 I		2		
	服飾構成演習 II		2		
	卒業制作 I		4		
	卒業制作 II		4		
フ ア ッ シ ョ ン & フ ラ イ ダ ル	ホテル・レストラン演習 I		1		
	ホテル・レストラン演習 II		1		
	カラーコーディネート論		2		
	衣装制作		1		
	ウエディング総論		2		
	洋裁技術検定対策		2		
	ファッションビジネス販売検定対策		2		
	ファッションマネージメント		2		
	ウエディングプランニング		2		
	ファッション販売		2		
	ファッション流行論		2		
	トータルスタイリング		2		
	イメージ配色		2		
キャリアデザイン対策		2			

	科 目	単位数		卒業要件 単位数	摘 要
		必修	選択		
アート クラフト	ファッションデザインテクニック		2	50単位以上	
	工芸デザイン		2		
	ファッション造形		2		
	ホビークラフト		1		
	織物		2		
ビュー ティ シ ン	メイクアップ演習		1		
	ネイルアートⅠ		1		
	ネイルアートⅡ		1		
	ウォーキングレッスンⅠ		1		
	ウォーキングレッスンⅡ		1		
ベー シ ン ク デ ザ イ ン	基礎デザイン		2		
	デザイン表現		2		
	素描Ⅰ		2		
	素描Ⅱ		2		
	色彩演習Ⅰ		1		
D T P デ ザ イ ン	DTP 基礎		1		
	プリプレス演習		1		
	DTP 演習Ⅰ		2		
グ ラ フ イ ン ク	DTP 演習Ⅱ		2		
	デザイン演習		1		
	写真真Ⅰ		2		
	写真真Ⅱ		2		
	イラストレーションⅠ		1		
デ ウ ェ ブ デ ザ イ ン	イラストレーションⅡ		2		
	ウェブプログラミング演習Ⅰ		1		
	ウェブプログラミング演習Ⅱ		1		
	ウェブデザイン演習Ⅰ		1		
ク ロ ス メ デ ィ ア	ウェブデザイン演習Ⅱ		2		
	3 DCG 演習		1		
	クロスメディアデザインⅠ		1		
	クロスメディアデザインⅡ		1		
	デジタルアートⅠ		2		
	デジタルアートⅡ		2		
	動画演習Ⅰ		1		
動画演習Ⅱ		2			

科	目	単位数		卒業要件 単位数	摘 要	
		必修	選択			
フ ォ ィ ン ア ー	ドローイング演習		1	50単位以上		
	絵画 I		2			
	絵画 II		2			
制 作 実 習	プランニング		1			
	制作実習 I		2			
	制作実習 II		2			
医 療 事 務	デザイン研究		1			
	医療事務総論		2			
	医療事務演習 I		1			
	医療事務演習 II		1			
	医療事務演習 III		1			
	医療事務演習 IV		1			
	コミュニケーション演習		1			
	医療安全		2			
	レセプト検定対策 I		1			
	レセプト検定対策 II		1			
レセプト検定対策 III		1				
レセプト検定対策 IV		1				
医 療 秘 書	医療秘書実務		2			
	看護概論		2			
	電子カルテ実務総論		2			
	医事コンピュータ		1			
	医療秘書実務実習 I		1			
	医療秘書実務実習 II		1			
	医療秘書実務実習 III		2			
電子カルテ実務演習		1				
基 礎 医 学	解剖学		2			
	生理検査学		2			
	と 衆衛生学		2			
	基礎医学		1			
介 護 事 務	介護技術 I		1			
	介護技術 II		1			
	介護実習		1			
	高齢者心理学		1			
	介護事務演習 II		1			
診 療 情 報	臨床医学概論 I		2			
	診療情報管理論 I		2			
	臨床医学概論 II		2			
	病名コーディング演習 I		1			
	診療情報管理論 II		2			
病名コーディング演習 II		1				
シ ス テ ム 設 計 研 究	システム設計		2			
	卒業研究		2			

科 目	単位数		卒業要件 単位数	摘 要
	必修	選択		
留 学 生	インターンシップ I	1	50単位以上	
	インターンシップ II	1		
	インターンシップ III	1		
	インターンシップ IV	1		
	温泉医療療養指導	2		
	温泉入浴指導員養成講座	1		
	温泉学	2		
	経済学概論	2		
	経済学入門	2		
	現代社会論	2		
	エコノミックピアサポート概論	2		
	事務管理	2		
	情報ネットワーク論	2		
	日中通訳入門	1		
	財務会計論	2		
	簿記 I	2		
	簿記 II	2		
	原価計算論	2		
	マーケティング論	2		
	サービスマーケティング	2		
	グローバルマーケティング	2		
	マーケティング演習	1		
	貿易実務	2		
起業学	2			
業法	2			

科	目	単位数		卒業要件 単位数	摘 要
		必修	選択		
留学生	日 本 語 検 定 対 策	A	1		
	日 本 語 検 定 対 策	B	1		
	日 本 語 検 定 対 策	C	1		
	日 本 語 検 定 対 策	D	1		
	日 本 語 検 定 対 策	E	1		
	日 本 語 検 定 対 策	F	1		
	日 本 語 検 定 対 策	E	2		
	日 本 語 検 定 対 策	F	2		
	日 本 語 検 定 対 策	G	2		
	日 本 語 検 定 対 策	H	2		
	日 本 語 上 級	A	1		
	日 本 語 上 級	B	1		
	日 本 語 上 級	C	1		
	日 本 語 上 級	D	1		
	日 本 語 上 級	E	2		
	日 本 語 上 級	F	2		
	日 本 語 上 級	A	2		
	日 本 語 上 級	B	2		
	日 本 語 上 級	C	2		
	日 本 語 上 級	D	2		
	日 本 語 上 級	E	2		
	日 本 語 上 級	F	2		
	日 本 語 上 級	G	2		
	日 本 語 上 級	H	2		
	日 本 語 初 級	A	2		
	日 本 語 初 級	B	2		
	日 本 語 初 級	C	2		
	日 本 語 初 級	D	2		
	日 本 語 初 級	E	2		
	日 本 語 初 級	F	2		
	日 本 語 初 級	G	2		
	日 本 語 初 級	H	2		
	日 本 語 中 級	A	2		
	日 本 語 中 級	B	2		
	日 本 語 中 級	C	2		
	日 本 語 中 級	D	2		
日 本 語 中 級	E	2			
日 本 語 中 級	F	2			
日 本 語 中 級	G	2			
日 本 語 中 級	H	2			

1 ライフデザイン総合学科

ライフデザイン総合学科 7

科	目	単位数		卒業要件 単位数	摘 要
		必修	選択		
留 学 生	日 本 語 中 上 級 A		1		
	日 本 語 中 上 級 B		1		
	日 本 語 中 上 級 C		1		
	日 本 語 中 上 級 D		1		
	日 本 語 中 上 級 D		2		
	日 本 語 中 上 級 F		2		
	日 本 語 中 上 級 G		2		
	日 本 語 実 践 会 話		2		
	日 本 語 実 践 文 書 作 成		2		
	ビ ジ ネ ス 日 本 語		2		
	実 践 日 本 語 A		1		
	実 践 日 本 語 B		1		
	実 践 日 本 語 C		1		
	実 践 日 本 語 D		1		
	実 践 日 本 語 E		1		
	実 践 日 本 語 F		1		
	ビ ジ ネ ス 実 務 演 習 I		1		
	ビ ジ ネ ス 実 務 演 習 II		1		
	ビ ジ ネ ス 実 務 総 論		2		
	ビ ジ ネ ス 文 書		1		
	ビ ジ ネ ス マ ナ		2		
日 本 の 文 化		1			

1 ライフデザイン総合学科

ライフデザイン総合学科 8

	科 目	単位数		卒業要件 単位数	摘 要
		必修	選択		
留 学 生	表 計 算 演 習 I		1		
	表 計 算 演 習 II		1		
	プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン 演 習		1		
	別 府 の 歴 史 と 発 展		2		
	宿 泊 業 務 演 習		1		
	ホ テ ル ・ レ ス ト ラ ン 演 習 I		1		
	ホ テ ル ・ レ ス ト ラ ン 演 習 II		1		
	ホ テ ル ・ 観 光 英 語		1		
	マ ー ケ テ ィ ン グ 論		1		
	地 域 固 有 の 観 光 要 素 の 発 見		2		
	写 真 (写 真 I)		2		
	プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン 概 論		2		
	企 業 理 解 学		2		
	観 光 ・ 地 域 体 験 学		2		
	お も て な し の 心 を 学 ぶ		2		
	温 泉 コ ン シ ェ ル ジ ュ の 基 礎		2		
	温 泉 文 化 と 活 用		2		
	温 泉 コ ン シ ェ ル ジ ュ 演 習		2		
	温 泉 コ ン シ ェ ル ジ ュ 応 用 演 習		2		
	お も て な し 温 泉 学 演 習		2		
	国 際 関 係 学 総 論		2		
大 日 本 語 分 学		2			
日 本 語 能 力 試 験 対 策		1			
日 本 留 学 試 験 対 策		1			

2 食物栄養学科

食物栄養学科 2

領域	科 目	保育健康 コース		医事健康 コース		温泉コンシェルジュ コース		留学生 コース		卒業要件 単位数	摘 要
		単位数		単位数		単位数		単位数			
		必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択		
その他	卒業研究	2		2		2				50単位以上	人権教育を含む
	健康運動指導論		2		2		2				
	アクアエクササイズ		1		1		1				
	健康マネジメント論		1		1		1				
	観光学入門		1		1						
	温泉コンシェルジュの基礎		2		2						
	別府の歴史と発展		2		2						
	地域固有の観光要素の発見		2		2						
	温泉学		2		2						
	高齢者心理学		1				1				
	インターンシップ I		1		1		1				
	インターンシップ II		1		1		1				
インターンシップ III		2		2		2					
インターンシップ IV		2		2		2					
福祉関係科目	介護概論		2				2				
	介護の理解		2				2				
	介護技術 I		1				1				
	介護技術 II		1				1				
	介護保険		2				2				
	介護実習		1				1				

2 食物栄養学科

食物栄養学科 4

領域	科	目	保育健康 コース		医事健康 コース		温泉コンシェルジュ コース		留学生 コース		卒業要件 単位数	摘 要
			単位数		単位数		単位数		単位数			
			必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択		
医療と介護	医療秘書実務	総論				2					50単位以上	
	医療事務	総論				2						
	医療事務	演習 I				1						
	医療事務	演習 II				1						
	医療事務	演習 III				1						
	医療事務	演習 IV				1						
	薬と	検査				2						
	看護	概論				2						
	介護	概論				2						
	介護	の理解				2						
	介護	技術 I				1						
	介護	技術 II				1						
	介護	保険				2						
	介護	実習				1						
	介護	事務演習				1						
	高齢者	心理学				1						
	医療秘書実務	実習 I				1						
	医療秘書実務	実習 II				1						
	医療秘書実務	実習 III				2						
	ビジネス	実務総論				2						
コミュニケーション	演習				1							
手話	I				1							
手話	II				1							

2 食物栄養学科

食物栄養学科 7

領域	科 目	保育健康 コース		医事健康 コース		温泉コンシェルジュ コース		留学生 コース		卒業要件 単位数	摘 要
		単位数		単位数		単位数		単位数			
		必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択		
ビジネス実務	ビジネスマナー								2	50単位以上	留学生
	表計算演習Ⅰ								1		
	情報ネットワーク論								2		
	国際関係学総論								2		
	日本の文化								1		
日本語教育	日本語初級A								2		
	日本語初級B								2		
	日本語初級C								2		
	日本語初級D								2		
	日本語初級E								2		
	日本語初級F								2		
	日本語初級G								2		
	日本語初級H								2		
	日本語中級A								2		
	日本語中級B								2		
	日本語中級C								2		
	日本語中級D								2		
	日本語中級E								2		
	日本語中級F								2		
	日本語中級G								2		
	日本語中級H								2		
	日本語上級A								1		
	日本語上級B								1		
	日本語上級C								1		
	日本語上級D								1		
	日本語上級E								1		
	日本語上級F								1		
	日本語上級A								2		
	日本語上級B								2		
	日本語上級C								2		
	日本語上級D								2		
	日本語上級E								2		
	日本語上級F								2		
	日本語上級G								2		
	日本語上級H								2		
	日本語検定対策A								1		
	日本語検定対策B								1		
日本語検定対策C								1			
日本語検定対策D								1			
日本語検定対策E								1			
日本語検定対策F								1			
日本語検定対策A								2			
日本語検定対策B								2			

日本語検定対策 C						2		
日本語検定対策 D						2		
日本語検定対策 E						2		
日本語検定対策 F						2		
日本語検定対策 G						2		
日本語検定対策 H						2		
日本語能力試験対策						1		
日本語留学試験対策						1		

3 幼児教育学科

幼児教育学科 1

科 目		保育士コース		留学生コース		摘 要
		単位	卒業要件 単位	単位	卒業要件 単位	
総合	総合表現 I	2	4	2	50単位 以上	
	総合表現 II	2		2		
	卒業制作・論文	2	2	2		
原理・ 教育学	保育原理	2	44	2		
	社会的養護 I	2		2		
	保育者論	2		2		
	教育原理	2		2		
	教職概論	2		2		
	教育方法論	2		2		
	教育課程総論	2		2		
	保育・教職実践演習(幼稚園)	2		2		
心理	発達心理学	2		2		
	こども家庭支援の心理学	2		2		
	こどもの理解と援助	1		1		
	こどもの理解と保育・教育相談	2		2		
福祉	社会福祉	2		2		
	こども家庭福祉	2		2		
	こども家庭支援論	2		2		
保健・ 栄養	こどもの保健	2		2		
	こどもの健康と安全	1		1		
	こどもの食と栄養	2		2		
基礎 技術	こどもの言語表現	1		1		
	こどもの身体表現	1		1		
	こどもの造形表現	1		1		
	保育・教育の計画と文書	2		2		
	基礎音楽	1		1		
	音楽	1		1		
	演奏表現	1		1		
	こどもの音楽表現	1		1		
保育表現技術	1	1				

科 目		保育士コース		留学生コース		摘 要
		単位	卒業要件 単位	単位	卒業要件 単位	
保育内容	保育内容（総論）	1		1		
	保育内容（健康）	1		1		
	保育内容（人間関係）	1		1		
	保育内容（環境）	1		1		
	保育内容（言葉）	1		1		
	保育指導法概論	2		2		
	健康指導法	1		1		
	人間関係指導法	1		1		
	環境指導法	1		1		
	言葉指導法	1		1		
	保育内容（表現）の理論と方法	1		1		
	音楽表現指導法	1		1		
	造形表現指導法	1		1		
	身体表現指導法	1		1		
	乳児保育Ⅰ	2		2		
	乳児保育Ⅱ	1		1		
	特別支援教育概論	1		1		
	障害児保育	1		1		
社会的養護Ⅱ	1		1			
子育て支援	1		1			
児童文化	1		1			
実習	保育実習指導Ⅰ（保育所）	1		1		
	保育実習指導Ⅰ（施設）	1		1		
	保育実習Ⅰ（保育所）	2		2		
	保育実習Ⅰ（施設）	2		2		
	保育実習指導Ⅱ（保育所）	1		1		
	保育実習Ⅱ（保育所）	2		2		
	保育実習Ⅲ	2		2		
	幼稚園教育実習指導	2		2		
その他	レクリエーション概論	2		2		
	レクリエーション演習	2		2		
	インターンシップⅠ	1		1		
	インターンシップⅡ	1		1		
	インターンシップⅢ	2		2		
	インターンシップⅣ	2		2		

科 目		保育士コース		留学生コース		摘 要
		単位	卒業要件 単位	単位	卒業要件 単位	
日本の文化・社会	異文化コミュニケーション I			2		
	異文化コミュニケーション II			2		
	比較文化論 I			2		
	比較文化論 II			2		
	日本語プレゼンテーション			2		
	現代日本語			2		
	日本事情			2		
	社会時事 I			4		
	社会時事 II			4		
	日本の芸術・文化			2		
	日本の文化入門			1		
	観光学入門			1		
	別府の歴史と発展			2		
	温泉コンシェルジュの基礎			2		
温泉文化と活用			2			
温泉医療療養指導			2			
温泉健康トレーニング			2			
ジョイントセッション I			1			
ジョイントセッション II			1			
ジョイントセッション III			1			
ジョイントセッション IV			1			
ジョイントセッション V			2			
ジョイントセッション VI			2			
ジョイントセッション VII			2			
ジョイントセッション VIII			2			

4 介護福祉学科

介護福祉学科 1

	科 目	単位数		摘 要
		必修	選択	
人間の理解	人間の尊厳と自立	2		
	人間関係とコミュニケーション	4		
社会の理解	社会の理解Ⅰ	2		
	社会の理解Ⅱ	2		
選択科目	プレゼンテーション論	2		
	現代社会論	2		
	社会福祉概論	2		
	社会薬理学	2		
介護の基本	介護の基本Ⅰ	4		
	介護の基本Ⅱ	4		
	リハビリテーション論	2		
	介護保険	2		
コミュニケーション技術	コミュニケーション技術Ⅰ	1		
	コミュニケーション技術Ⅱ	1		
生活支援技術	生活支援技術Ⅰ-A	1		
	生活支援技術Ⅰ-B	1		
	生活支援技術Ⅱ-A	2		
	生活支援技術Ⅱ-B	2		
	生活支援技術Ⅲ	2		
	家政学実習	2		
	生活支援実習	2		
介護過程	介護過程Ⅰ	1		
	介護過程Ⅱ	1		
	介護過程Ⅲ	2		
	介護過程Ⅳ	1		
介護総合演習	介護総合演習Ⅰ	1		
	介護総合演習Ⅱ	1		
	介護総合演習Ⅲ	1		
	介護総合演習Ⅳ	1		
介護実習	介護実習Ⅰ-1	2		
	介護実習Ⅰ-2	3		
	介護実習Ⅱ	5		
発達と老化の理解	心理学	2		
	発達と老化の理解	2		
認知症の理解	認知症の理解Ⅰ	2		
	認知症の理解Ⅱ	2		
障害の理解	障害の理解Ⅰ	2		
	障害の理解Ⅱ	2		
こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみⅠ-A	2		
	こころとからだのしくみⅠ-B	2		
	こころとからだのしくみⅡ	2		
	こころとからだのしくみⅢ	2		
医療的ケア	医療的ケアⅠ-A	2		
	医療的ケアⅠ-B	2		
	医療的ケアⅡ	2		
その他	卒業研究	3		
	介護事務演習	1		
	福祉レクリエーション論	2		
	福祉レクリエーション援助技術	2		
	福祉レクリエーション援助論	2		
	福祉環境論	2		
	レクリエーション論	2		
	レクリエーション活動援助法Ⅰ	1		
	レクリエーション活動援助法Ⅱ	1		
	ボランティア概論	2		
	ボランティア演習	4		
	福祉総合演習Ⅰ	3		
	福祉総合演習Ⅱ	3		

4 介護福祉学科

介護福祉学科 2

	科 目	単位数		摘 要
		必修	選択	
人間の理解	人間の尊厳と自立 人間関係とコミュニケーション	2		留学生 留学生
		4		
社会の理解	社会の理解 I 社会の理解 II	2		留学生 留学生
		2		
選択科目	プレゼンテーション論	2		留学生
	現代社会論	2		留学生
	社会福祉概論	2		留学生
	社会福祉学	2		留学生
介護の基本	介護の基本 I	4		留学生
	介護の基本 II	4		留学生
	リハビリテーション論	2		留学生
	介護保険	2		留学生
コミュニケーション技術	コミュニケーション技術 I	1		留学生
	コミュニケーション技術 II	1		留学生
生活支援技術	生活支援技術 I - A	1		留学生
	生活支援技術 I - B	1		留学生
	生活支援技術 II - A	2		留学生
	生活支援技術 II - B	2		留学生
	生活支援技術 III	2		留学生
	家政学実習	2		留学生
	生活支援実習	2		留学生
介護過程	介護過程 I	1		留学生
	介護過程 II	1		留学生
	介護過程 III	2		留学生
	介護過程 IV	1		留学生
介護総合演習	介護総合演習 I	1		留学生
	介護総合演習 II	1		留学生
	介護総合演習 III	1		留学生
	介護総合演習 IV	1		留学生
介護実習	介護実習 I - 1	2		留学生
	介護実習 I - 2	3		留学生
	介護実習 II	5		留学生
発達と老化の理解	心理学	2		留学生
	発達と老化の理解	2		留学生
認知症の理解	認知症の理解 I	2		留学生
	認知症の理解 II	2		留学生
障害の理解	障害の理解 I	2		留学生
	障害の理解 II	2		留学生
こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみ I - A	2		留学生
	こころとからだのしくみ I - B	2		留学生
	こころとからだのしくみ II	2		留学生
	こころとからだのしくみ III	2		留学生
医療的ケア	医療的ケア I -A	2		留学生
	医療的ケア I -B	2		留学生
	医療的ケア II	2		留学生
その他	卒業研究	3		留学生
	介護事務演習		1	留学生
	福祉レクリエーション論		2	留学生
	福祉レクリエーション援助技術		2	留学生
	福祉レクリエーション援助論		2	留学生
	福祉環境論		2	留学生
	レクリエーション論		2	留学生
	レクリエーション活動援助法 I		1	留学生
	レクリエーション活動援助法 II		1	留学生
	ボランティア概論		2	留学生
	ボランティア演習		4	留学生
	福祉総合演習 I		3	留学生
	福祉総合演習 II		3	留学生

	科 目	単位数		摘 要
		必修	選択	
留学生	介 護 の こ と ば	I	2	留学生
	介 護 の こ と ば	II	2	留学生
	日 本 語 中 上 級	A	1	留学生
	日 本 語 中 上 級	B	1	留学生
	日 本 語 中 上 級	C	1	留学生
	日 本 語 中 上 級	D	1	留学生
	日 本 語 中 上 級	E	2	留学生
	日 本 語 中 上 級	F	2	留学生
	日 本 語 中 上 級	G	2	留学生
	日 本 語 上 級	A	1	留学生
	日 本 語 上 級	B	1	留学生
	日 本 語 上 級	C	1	留学生
	日 本 語 上 級	D	1	留学生
	日 本 語 上 級	E	2	留学生
	日 本 語 上 級	F	2	留学生
	日 本 語 上 級	G	2	留学生
	介 護 の 日 本 語	A	2	留学生
	介 護 の 日 本 語	B	2	留学生
	介 護 の 日 本 語	C	2	留学生
	介 護 の 日 本 語	D	2	留学生
介 護 の 日 本 語	一	2	留学生	
日 本 語 の 事	化	1	留学生	
日 本 語 の 事	I	2	留学生	
日 本 語 の 事	II	2	留学生	

1 栄養教諭二種免許状

食物栄養学科

	科 目	履修方法	栄養教諭二種免許状 (基礎的要件) 栄養士免許状を必要とする		摘 要
			単位数		
			必修	選択	
栄養に係る教育に関する科目	学 校 栄 養 教 育 論	講義	2		
教育の基礎的理解に関する科目	教 職 概 論	講義	2		社会的・制度的・経営的事項を含む
	教 育 原 理	講義	1		
	発 達 心 理 学	講義	1		
	特 別 支 援 教 育 概 論	講義	1		
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	<small>道徳・特別活動・教育課程論（総合的な学習の時間を含む）</small>	講義	2		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)を含む
	教 育 方 法 論	講義	1		
	生 徒 指 導 論	講義	1		
	教 育 相 談 論	講義	1		
教育実践に関する科目	教 職 実 践 演 習	演習	2		
	事 前 事 後 指 導	講義	1		
	栄 養 教 育 実 習	実習	1		
その他	保 育 原 理	講義		1	
	障 害 児 保 育 / 家 族 援 助 論	講義		1	
	乳 児 ・ 小 児 栄 養	講義		1	
	保 育 栄 養 指 導 法	講義		1	

2 幼稚園教諭二種免許状

幼児教育学科

	科	目	履修方法	幼二種免		摘要
				単位数		
				必修	選択	
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	保育内容（健康）	演習	1		
		保育内容（人間関係）	演習	1		
		保育内容（環境）	演習	1		
		保育内容（言葉）	演習	1		
		保育内容（表現）の理論と方法	演習	1		
		保育内容（総論）	演習	1		
	<small>領域及び保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を含む内容に係る科目</small> 保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	健康指導法	演習	1		
		人間関係指導法	演習	1		
		環境指導法	演習	1		
		言葉指導法	演習	1		
		音楽表現指導法	演習	1		
		造形表現指導法	演習	1		
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	講義	2		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）を含む	
	教職概論	講義	2			
	発達心理学	講義	2			
	特別支援教育概論	演習	1			
	教育課程総論	講義	2			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育方法論	講義	2			
	こどもの理解と保育・教育相談	講義	2			
教育実践に関する科目	幼稚園教育実習指導	講義	2			
	幼稚園教育実習Ⅰ	実習	2			
	幼稚園教育実習Ⅱ	実習	2			
	保育・教職実践演習（幼稚園）	演習	2			

告示別表第1による教科目		科目	履修方法	保育士コース		摘要	
系列	教科目			必須	選択		
保育に関する本質科・目的	保育原理	保 育 原 理	講義	2			
	教育原理	教 育 原 理	講義	2			
	子ども家庭福祉	こ ども 家 庭 福 祉	講義	2			
	社会福祉	社 会 福 祉	講義	2			
	子ども家庭支援論	こ ども 家 庭 支 援 論	講義	2			
	社会的養護Ⅰ	社 会 的 養 護 Ⅰ	講義	2			
	保育者論	保 育 者 論	講義	2			
理解育の科に 対象の	保育の心理学	発 達 心 理 学	講義	2			
	子ども家庭支援の心理学	こ ども 家 庭 支 援 の 心 理 学	講義	2			
	子どもの理解と援助	こ ども の 理 解 と 援 助	演習	1			
	子どもの保健	こ ども の 保 健	講義	2			
	子どもの食と栄養	こ ども の 食 と 栄 養	演習	2			
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	教 育 課 程 総 論	講義	2			
	保育内容総論	保 育 内 容 (総 論)	演習	1			
	保育内容演習	健康指導法	健 康 指 導 法	演習	1		
		人間関係指導法	人 間 関 係 指 導 法	演習	1		
		環境指導法	環 境 指 導 法	演習	1		
		言葉指導法	言 葉 指 導 法	演習	1		
		保育内容(表現)の理論と方法	保 育 内 容 (表 現) の 理 論 と 方 法	演習	1		
	保育内容の理解と方法	保育内容(人間関係)	保 育 内 容 (人 間 関 係)	演習	1		
		保育内容(環境)	保 育 内 容 (環 境)	演習	1		
		保育内容(言葉)	保 育 内 容 (言 葉)	演習	1		
		児童文化	児 童 文 化	演習	1		
	乳児保育Ⅰ	乳 児 保 育 Ⅰ	講義	2			
	乳児保育Ⅱ	乳 児 保 育 Ⅱ	演習	1			
	子どもの健康と安全	こ ども の 健 康 と 安 全	演習	1			
	障害児保育	特別支援教育概論	特 別 支 援 教 育 概 論	演習	1		
		障害児保育	障 害 児 保 育	演習	1		
社会的養護Ⅱ	社 会 的 養 護 Ⅱ	演習	1				
子育て支援	子 育 て 支 援	演習	1				
保育実習	保育実習Ⅰ	保育実習Ⅰ(保育所)	実習	2			
		保育実習Ⅰ(施設)	実習	2			
保育実習	保育実習指導Ⅰ	保育実習指導Ⅰ(保育所)	演習	1			
		保育実習指導Ⅰ(施設)	演習	1			
総合演習	保育実践演習	保 育 ・ 教 職 実 践 演 習 (幼 稚 園)	演習	2			

別表第2による教科目		科目	履修方法	保育士コース		摘 要
系列	教科目			必須	選択	
保育の本質・目的に関する科目		教 職 概 論	講義		2	
保育の対象の理解に関する科目		こどもの理解と保育・教育相談	講義		2	
保育の内容・方法に関する科目	各指定保育士養成施設において設定	教 育 方 法 論	講義		2	
		保 育 内 容 (健 康)	演習		1	
		音 楽 表 現 指 導 法	演習		1	
		造 形 表 現 指 導 法	演習		1	
		身 体 表 現 指 導 法	演習		1	
		保 育 指 導 法 概 論	講義		2	
		保 育 表 現 技 術	演習		1	
保 育 ・ 教 育 の 計 画 と 文 書	講義		2			
保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	保 育 実 習 Ⅱ (保 育 所)	実習		2	いずれかを選択
		保 育 実 習 Ⅲ	実習		2	
	保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	保 育 実 習 指 導 Ⅱ (保 育 所)	演習		1	

4 ファッションアドバイザー

科 目	単位数	ライフデザイン総合学科	摘 要
コミュニケーション論	2	○	
日本の文化・着付け I	1	○	
服飾構成演習 I	2	○	
服飾構成演習 II	2	○	
卒業制作 I	4	○	
卒業制作 II	4	○	
カラーコーディネート論	2	○	
衣装制作	1	○	
ファッションビジネス販売検定対策	2	○	
ファッションマネージメント	2	○	
ファッション販売	2	○	
ファッション流行論	2	○	
トータルスタイリング	2	○	
イメージ配色	2	○	
キャリアデザイン対策	2	○	
ファッションデザインテクニック	2	○	
工芸デザイン	2	○	
ファッション造形	2	○	
ホビークラフト	1	○	
織物	2	○	
メイクアップ演習	1	○	
ネイルアート I	1	○	
ネイルアート II	1	○	

5 ブライダルアシスタントコーディネーター

科 目	単位数	ライフデザイン総合学科	摘 要
コミュニケーション論	2	○	
リーダーシップ論	2	○	
日本の文化・着付けⅠ	1	○	
日本の文化・着付けⅡ	1	○	
日本の文化・茶道	1	○	
ホテル・レストラン演習Ⅰ	1	○	
ホテル・レストラン演習Ⅱ	1	○	
カラーコーディネート論	2	○	
衣装制作	1	○	
ウエディング総論	2	○	
ファッションビジネス販売検定対策	2	○	
ファッションマネージメント	2	○	
ウエディングプランニング	2	○	
トータルスタイリング	2	○	
イメージ配色	2	○	
キャリアデザイン対策	2	○	
ホビークラフト	1	○	
メイクアップ演習	1	○	
ネイルアートⅠ	1	○	
ネイルアートⅡ	1	○	
ウォーキングレッスンⅠ	1	○	
ウォーキングレッスンⅡ	1	○	

6 DTPデザイナー

科 目	単位数	ライフデザイン総合学科	摘 要
陶 芸 I	2	○	
陶 芸 II	2	○	
染 色 I	2	○	
染 色 II	2	○	
フォトタッチソフトウェア演習	1	○	
レイアウトソフトウェア演習	1	○	
日 本 の 芸 術 ・ 文 化	2	○	
基 礎 デ ザ イ ン	2	○	
デ ザ イ ン 表 現	2	○	
素 描 I	2	○	
素 描 II	2	○	
色 彩 演 習 I	1	○	
色 彩 演 習 II	1	○	
DTP 基 礎	1	○	
プ リ プ レ ス 演 習	1	○	
DTP 演 習 I	2	○	
DTP 演 習 II	2	○	
デ ザ イ ン 演 習	1	○	
写 真 I	2	○	
写 真 II	2	○	
イ ラ ス ト レ ー シ ョ ン I	1	○	
デ ジ タ ル ア ー ト I	2	○	
ド ロ ー イ ン グ 演 習	1	○	
絵 画 I	2	○	
プ ラ ン ニ ン グ	1	○	
制 作 実 習 I	2	○	
制 作 実 習 II	2	○	

7 Webデザイナー

科 目	単位数	ライフデザイン総合学科	摘 要
フォトタッチソフトウェア演習	1	○	
基 礎 デ ザ イ ン	2	○	
色 彩 演 習 I	1	○	
色 彩 演 習 II	1	○	
写 真 I	2	○	
写 真 II	2	○	
ウェブプログラミング演習 I	1	○	
ウェブプログラミング演習 II	1	○	
ウェブデザイン演習 I	1	○	
ウェブデザイン演習 II	2	○	
クロスメディアデザイン I	1	○	
クロスメディアデザイン II	1	○	
動 画 演 習 I	1	○	
制 作 実 習 I	2	○	
制 作 実 習 II	2	○	

8 ビジネス実務士

ライフデザイン総合学科

科 目	単位数	ファッションバイダルコース グラフィックデザインコース 医療事務コース	ビジネス・観光コース	備 考
コミュニケーション論	2	○		
日本語表現	2	○	○	
情報科学	2	○	○	
人間関係論	2		○	
事務管理	2	○	○	
ビジネス実務総論	2		○	
プレゼンテーション概論	2	○	○	
リーダーシップ論	2		○	
経済学入門	2		○	
現代社会論	2		○	
ビジネス実務演習Ⅰ	2		○	
会計学	2		○	
マーケティング論	1		○	
エコノミックピアサポート概論	2		○	

9 ビジネス実務士

食物栄養学科

1. 必修科目(3科目6単位以上)

科 目	単位数	摘 要	備 考
ビジネス実務総論	2	必須	
事務管理	2	必須	
人間関係論	2	必須	

2. 選択科目(次の科目の中から計10単位以上)

科 目	単位数	摘 要	備 考
リーダーシップ論	2	選択	
ビジネス実務演習Ⅰ	1	選択	
情報処理論	2	選択	
プレゼンテーション概論	2	選択	
現代社会論	2	選択	
日本語表現	2	選択	
コミュニケーション演習	1	選択	
ビジネス実務演習Ⅱ	1	選択	

10 情報処理士

ライフデザイン総合学科

科 目	単位数	ファッションブライダルコース グラフィックデザインコース 医療事務コース	ビジネス・観光コース	備 考
コミュニケーション論	2	○		
情報科学	2	○	○	
ICTと社会	1	○	○	
事務管理	2	○	○	
表計算演習 I	1	○	○	
プレゼンテーション概論	2	○	○	
情報ネットワーク論	2		○	
プレゼンテーション演習	1		○	
リーダーシップ論	2		○	
現代社会論	2		○	
会計学	2		○	

11 医療秘書実務士

科 目	単位数	ライフデザイン総合学科	食物栄養学科	摘要
ICTの活用	2	○		
現代社会論	2	○		
解剖生理学	2	○解剖学・生理学	○解剖学・生理学	
医薬と検査	2	○薬と検査	○薬と検査	
公衆衛生学	2	○	○	
基礎医学	1	○		
医療秘書実務	2	○	○	
医療秘書実務実習 I	1	○医療秘書実務実習 I	○医療秘書実務実習 I	
医療秘書実務実習 II	1	○		
医療秘書実務実習 III	1	○		
医療秘書実務実習 IV	1	○		
コミュニケーション演習	1	○		
医療安全	2	○		
医療事務総論	2	○	○	
医療事務演習 I	1	○医療事務演習 I	○医療事務演習 I	
情報処理演習	1	○表計算演習 I	○栄養士のための情報処理	
福祉論	2	○社会福祉	○社会福祉	
介護概論	2		○	
外国語会話	1	○英語 I・中国語 I	○英語 I・中国語 I	} 2科目以上、 4単位以上 修得すること
手話	1	○手話 I・手話 II	○手話 I・手話 II	
看護概論	2	○	○	

12 医事コンピュータ実務課程

科目	単位数	ライフデザイン総合学科	摘要
医事コンピュータ実務学習	1	○医事コンピュータ	①医療秘書実務士の資格取得 ②情報処理検定3級以上を取得

13 ICDコーディング課程

科目	単位数	ライフデザイン総合学科	摘要
臨床医学概論	2	○臨床医学概論Ⅰ	①医療秘書実務士資格の取得
ICDコーディング実務演習	1	○病名コーディング演習Ⅰ	②情報処理検定3級以上を取得
診療情報管理	1	○診療情報管理論Ⅰ	

14 電子カルテ実務課程

科目	単位数	ライフデザイン総合学科	摘要
電子カルテ実務総論	1	○診療情報管理論Ⅰ	①医療秘書実務士資格の取得
電子カルテ実務演習	1	○医事コンピュータ	②情報処理検定3級以上を取得

15 介護保険実務士

科目	単位数	ライフデザイン総合学科	食物栄養学科	介護福祉学科	介護福祉学科留学生コース	摘要
社会福祉	2	○	○	○社会福祉概論	○社会福祉概論	
介護概論	2	○	○	○介護の基本Ⅰ・Ⅱ	○介護の基本Ⅰ・Ⅱ	
医療の基礎	1	○基礎医学	○基礎医学	○こころからだのしくみⅠ-A・Ⅰ-B・Ⅱ・Ⅲ	○こころからだのしくみⅠ-A・Ⅰ-B・Ⅱ・Ⅲ	
老人心理学	1	○高齢者心理学	○高齢者心理学	○発達と老化の理解	○発達と老化の理解	
介護技術	1	○介護技術Ⅰ	○介護技術Ⅰ	○生活支援技術Ⅱ-A・Ⅱ-B・Ⅲ	○生活支援技術Ⅱ-A・Ⅱ-B・Ⅲ	
介護事務総論	2	○介護保険	○介護保険	○介護保険	○介護保険	
介護事務演習	1	○	○	○	○	
情報処理	1	○表計算演習Ⅰ	○栄養士のための情報処理	○情報処理論	○情報処理論	
介護実習	1			○	○	
介護事務演習Ⅱ	1	○医療事務演習Ⅳ	○医療事務演習Ⅳ			
接遇・マナー	1	○ビジネス実務総論	○ビジネス実務総論			

16 診療情報管理実務士

科目	単位数	ライフデザイン総合学科	摘要
臨床医学概論 I	2	○	
臨床医学概論 II	2	○	
解剖学	1	○	
生理学	1	○	
医薬と検査	2	○薬と検査	
公衆衛生学	2	○	
医学・医療用語	1	○基礎医学	
診療情報管理論 I	2	○	
診療情報管理論 II	2	○	
病名コーディング演習	2	○病名コーディング演習 I・病名コーディング演習 II	
医療秘書実務実習	1	○医療秘書実務実習 I	
医療事務総論	2	○	
医療事務演習 I	1	○	
医療事務演習 II	1	○	
医療事務演習 III	1	○	
医療事務演習 IV	1	○	
医療秘書実務	2	○	
情報処理演習	1	○表計算演習 I	
福祉	2	○社会福祉	

17 社会福祉主事任用資格

科目	単位数	ライフデザイン総合学科	食物栄養学科	幼児教育学科	介護福祉学科	介護福祉学科留学生コース	摘要
社会福祉	2	○	○	○			
栄養学	2	○	○				
基礎法学	2	○					
介護概論	2	○	○				
看護概論	2	○					
公衆衛生学	2	○	○				
基礎医学	1		○				
栄養学総論	2		○				
栄養指導論 I	2		○				
社会的養護 I	2			○			
こども家庭福祉	2			○			
こども家庭支援論	2			○			
社会的養護 II	1			○			
社会福祉概論	2				○	○	
リハビリテーション論	2				○	○	
心理学	2				○	○	

ライフデザイン総合学科・食物栄養学科・幼児教育学科は3科目以上取得すること

18 介護職員初任者研修

科 目	単位数	ライフデザイン総合学科	食物栄養学科	摘要
社 会 福 祉	2	○	○	
介 護 概 論	2	○	○	
介 護 の 理 解	2	○	○	
公 衆 衛 生 学	2	○		
介 護 技 術 I	1	○	○	
介 護 技 術 II	1	○	○	
介 護 実 習	1	○	○	
基 礎 医 学	1		○	

19 手話講習会入門課程

科 目	単位数	ライフデザイン総合学科	食物栄養学科	介護福祉学科	介護福祉学科留学生コース	摘要
手 話 I	1	○	○			
手 話 II	1	○	○			
コミュニケーション技術 I	1			○	○	

20 健康アドバイザー

科 目	単位数	食物栄養学科	摘要
公 衆 衛 生 学	2	○	
解 剖 学	2	○	
生 理 学	2	○	
生 化 学	2	○	
運 動 生 理 学	2	○	
基 礎 医 学	1	○	
食 品 学 総 論	2	○	
食 品 学 各 論	2	○	
食 品 衛 生 学	2	○	
栄 養 学 総 論	2	○	
栄 養 学 各 論	2	○	
栄 養 学 実 習	1	○	
臨 床 栄 養 学	2	○	
臨 床 栄 養 学 実 習	1	○	
運 動 栄 養 学	2	○	
栄 養 指 導 論 I	2	○	
栄 養 指 導 論 II	2	○	
栄 養 指 導 実 習 I	1	○	
栄 養 指 導 実 習 II	1	○	
公 衆 栄 養 学	2	○	
調 理 学	2	○	
調 理 学 実 習 I	1	○	
調 理 学 実 習 II	1	○	
健 康 運 動 指 導 論	2	○	
ア ク ア エ ク サ サ イ ズ	1	○	
健 康 マ ネ ー ジ メ ン ト 論	1	○	

21 ピアヘルパー

科目	単位数	幼児教育学科	摘要
発達心理学	2	○	
こども家庭支援の心理学	2	○	
こどもの理解と援助	1	○	
子育て支援	1	○	
こどもの理解と保育・教育相談	2	○	

22 レクリエーションインストラクター

科目	単位数	幼児教育学科	介護福祉学科	介護福祉学科留学生コース	摘要
レクリエーション概論	2	○			
レクリエーション演習	2	○			
人間関係論	2		○	○	
コミュニケーション論	2		○	○	
人権教育概論	2		○	○	
運動スポーツⅠ	1		○	○	
運動スポーツⅡ	1		○	○	
介護実習Ⅰ-1	2		○	○	
介護実習Ⅰ-2	3		○	○	
レクリエーション論	2		○	○	
レクリエーション活動援助法Ⅰ	1		○	○	
レクリエーション活動援助法Ⅱ	1		○	○	
保育実習Ⅱ(保育所)	2	いずれか1科目の履修および 外部レク事業の参加を必要とする			
幼稚園教育実習Ⅱ	2				

23 福祉レクリエーションワーカー

科 目	単位数	介護福祉学科	介護福祉学科留学生コース	摘要
人 間 関 係 論	2	○	○	
コミュニケーション論	2	○	○	
人 権 教 育 概 論	2	○	○	
運 動 ス ポ ー ツ I	1	○	○	
運 動 ス ポ ー ツ II	1	○	○	
社 会 の 理 解 I	2	○	○	
社 会 の 理 解 II	2	○	○	
社 会 福 祉 概 論	2	○	○	
介 護 の 基 本 I	4	○	○	
介 護 の 基 本 II	4	○	○	
リハビリテーション論	2	○	○	
介 護 保 険	2	○	○	
コミュニケーション技術 I	1	○	○	
コミュニケーション技術 II	1	○	○	
生活支援技術 I - A	1	○	○	
生活支援技術 I - B	1	○	○	
生活支援技術 II - A	2	○	○	
生活支援技術 II - B	2	○	○	
生活支援技術 III	2	○	○	
家 政 学 実 習	2	○	○	
生 活 支 援 実 習	2	○	○	
介 護 実 習 I - 2	3	○	○	
介 護 実 習 II	5	○	○	
心 理 学	2	○	○	
障 害 の 理 解 I	2	○	○	
障 害 の 理 解 II	2	○	○	
こころとからだのしくみ I - B	2	○	○	
こころとからだのしくみ II	2	○	○	
こころとからだのしくみ III	2	○	○	
福 祉 レ ク リ エ ー シ ョ ン 論	2	○	○	
福祉レクリエーション援助技術	2	○	○	
福祉レクリエーション援助論	2	○	○	
福 祉 環 境 論	2	○	○	

24 温泉コンシェルジュ 基礎課程

科 目	単位数	食物栄養学科	摘要
観 光 ・ 地 域 体 験 学	2	○	
温泉コンシェルジュの基礎	2	○	
別 府 の 歴 史 と 発 展	2	○	
地域固有の観光要素の発見	2	○	
温 泉 学	2	○	
おもてなしの心を学ぶ	2	○	
おもてなし温泉学演習	2	○	
温泉医療療養指導	1	○	
大 分 学	2	○	

25 温泉コンシェルジュ 応用課程

科 目	単位数	食物栄養学科	摘要
温 泉 文 化 と 活 用	2	○	
温泉コンシェルジュ演習	2	○	
温泉コンシェルジュ応用	2	○	
温泉医療療養指導	1	○	

26 栄養士

科目	単位数	食物栄養学科	摘要
化学	2	○	
公衆衛生学	2	○	
社会福祉	2	○	
解剖学	2	○	
生理学	2	○	
生化学	2	○	
生化学実験	1	○	
運動生理学	2	○	
基礎医学	1	○	
食品学総論	2	○	
食品学各論	2	○	
食品学実験 I	1	○	
食品学実験 II	1	○	
食品衛生学	2	○	
食品衛生学実験	1	○	
栄養学総論	2	○	
栄養学各論	2	○	
栄養学実習	1	○	
臨床栄養学	2	○	
臨床栄養学実習	1	○	
運動栄養学	2	○	
栄養指導論 I	2	○	
栄養指導論 II	2	○	
栄養指導実習 I	1	○	
栄養指導実習 II	1	○	
公衆栄養学	2	○	
給食計画論	1	○	
給食実務論	1	○	
給食管理実習 I A	1	○	
給食管理実習 I B	1	○	
給食管理実習 II	1	○	
調理学	2	○	
調理学実習 I	1	○	
調理学実習 II	1	○	
調理学実習 III	1	○	

27 保育栄養アドバイザー

科目	単位数	食物栄養学科	摘要
保育原理	1	○	
障害児保育／家族援助論	1	○	上記26の栄養士必要科目を履修・取得すること。
乳児・小児栄養	1	○	
保育栄養指導法	1	○	

28 准学校心理士

科目	単位数	幼児教育学科	摘要
発達心理学	2	○	
こどもの理解と援助	1	○	
こどもの理解と保育・教育相談	2	○	
特別支援教育概論	1	○	

29 観光実務士

科目	単位数	ライフデザイン総合学科	食物栄養学科	摘要
観光・地域体験学	2	必修	必修	必修科目より8単位以上、選択科目より12単位以上修得すること
おもてなしの心を学ぶ	2	必修	必修	
別府の歴史と発展	2	選択	選択	
温泉学	2	選択	選択	
大分学	2	選択	選択	
温泉文化と活用	2	選択	選択	
日本の文化	1	選択		
経済学入門	2	選択		
ホテル・観光英語	1	選択		
日中通訳入門	1	選択		
温泉コンシェルジュの基礎	2	必修	必修	
おもてなし温泉学演習	2	選択	選択	
温泉コンシェルジュ演習	2	必修	必修	
地域固有の観光要素の発見	2	選択	選択	
温泉入浴指導員養成講座	2	選択	選択	
宿泊業務演習	1	選択		
温泉コンシェルジュ応用	2	必修	必修	
ホテル・レストラン演習Ⅰ	1	選択		
ホテル・レストラン演習Ⅱ	1	選択		
インターンシップ	1	選択	選択 (食物:インターンシップⅠ)	

30 こども食物アレルギー実務課程

科目	単位数	食物栄養学科	幼児教育学科	摘要
臨床栄養学	2	必修		必修科目を修得し、 選択科目より1単位以上修得すること
臨床栄養学実習	1	選択		
調理学実習Ⅰ	1	選択		
調理学実習Ⅱ	1	選択		
調理学実習Ⅳ	1	選択		
乳児・小児栄養	1	必修		
保育栄養指導法	1	必修		
こどもの食と栄養	2		必修	
保育実習Ⅰ(保育所)	2		選択	
保育実習Ⅱ(保育所)	2		選択	
幼稚園教育実習Ⅰ	2		選択	
幼稚園教育実習Ⅱ	2		選択	

学校法人溝部学園理事会決議録

1. 開催日時 令和6年3月26日(火曜日)午前11時15分～午後12時32分
2. 開催場所 大分県別府市大字野田字通山78番地
学校法人溝部学園記念館会議室
3. 理事総数 5名(定員5名 学校法人溝部学園寄附行為第5条)
4. 出席理事 溝部 仁 溝部 太郎 渡邊シゲ子 平松茂保 芝尾 宏
5. 欠席理事 なし
6. 出席監事 阿部 義隆 玉井 鉄之
7. 議 案
 - 第1号議案 令和5年度第2次補正予算について
 - 第2号議案 令和6年度当初予算(案)について
 - 第3号議案 短期大学の学科毎の入学定員数の見直しについて
 - 第4号議案 寄附行為の変更について
 - 第5号議案 児童発達支援センター「ひめやま」の設置に関する費用・体制面について
 - 第6号議案 「学校法人 溝部学園」「リーブルひめやま」「溝部学園購買部」の関連当事者との取引について
 - 第7号議案 大分県歯科技術専門学校の学則の変更について
 - 第8号議案 修学資金の借り入れに関する法人保証の継続について
 - 第9号議案 (報告事項) 豊和銀行のF種優先株式の購入について
8. 理事長挨拶 理事長 溝部 仁が挨拶を行った。
9. 議長選任
学校法人溝部学園寄附行為第16条7項の規定により、理事長 溝部 仁が議長となった。
10. 議事内容
議長は、出席理事が規定による定員数を超えた旨を報告し、午前11時15分に開会を宣言し、議事に入った。
 - 第1号議案 令和5年度第2次補正予算について
議長は、兼田事務局長に第1号議案の説明を告げる。
まず事務局長より、別添資料に基づいて下記の通り、説明がなされた。
今回の補正予算の内容は、学校法人会計基準の改正に伴うものが中心で、財産目録の作成基準が定められたことによって、これまで組入対象外資産であったものを、組入対象資産の中に組み入れることとした点と補助金、人件費についての微調整を行った、との説明があった。

議長より、本件について議場に諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

第2号議案 令和6年度当初予算(案)について

議長は、兼田事務局長に第2号議案の説明を告げる。

まず事務局長が、学園経営が少子化の影響で年々厳しくなっている状況を説明した後、議案について別添資料に基づき、説明を行った。

その内容については、部門別の説明があった後、学園全体の事業活動収支差額は、 $-42,679$ 千円(比率 $\Delta 3.15\%$)、経常収支差額も、令和6年度は施設設備補助金の予算計上がないことから事業活動収支差額と同額、同比率となっており、現時点においては昨年の当初予算と同水準の厳しい内容になっている、との説明があった。

このような中で、後ほど議案に上程されていますが、幼稚園の敷地の中に児童発達支援センター「ひめやま」を設置し、現在の社会の要請にいち早く応えとともに、将来学園の収支の改善に結び付く事業であるとの認識の下、溝部太郎常務理事(経営企画局長、精神科医師)、園長を中心に着々と開所準備を進めている、との説明もなされた。

また、令和7年度に学園が設立80周年を迎える時期に先駆けて、環境整備事業の一環として、隣接地の購入について検討を進めており、更なる学園の発展に向けて施設設備の充実を図っていくこととしている、との追加説明がなされた。

議長より、本件について議場に諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

第3号議案 短期大学の学科毎の入学定員数の見直しについて

議長は、兼田事務局長に第3号議案の説明を告げる。

事務局長より、最近の短期大学1年次在籍者数の推移が説明され、令和6年度の見込みも勘案し、教学改革戦略会議で検討した結果、令和7年度より入学定員総数200名は変更がないものの学科毎の定員数を、下記の通り見直す旨の提案がなされた。

学科毎の定員内訳は、ライフデザイン総合学科をこれまでの60名から75名に15名増員、食物栄養学科はこれまでと変わらず40名、幼児教育学科をこれまでの70名から50名と20名減員、介護福祉学科をこれまでの30名から35名と5名増員し、総定員数を200名としたい旨の見直し案が説明された。

なお本件については、教学改革戦略会議において十分に検討された結果であり、ぜひともご承認を頂きたいとの発言がなされた。

議長より、本件について議場に諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

第4号議案 寄附行為の変更について

議長は、兼田事務局長に第4号議案の説明を告げる。

本件については、児童福祉法に基づく障害児通所支援の一環として児童発達支援センター「ひめやま」設置に伴う措置として、別添資料の通り、寄附行為の変更が必要となった、との説明が事務局長よりなされた。また申請書類については、文部科学省宛提出する予定である旨の追加説明がされた。

議長より、本件について議場に諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

第5号議案 児童発達支援センター「ひめやま」の設置に関する費用・体制面について

議長は、兼田事務局長に第5号議案の説明を告げる。


標記の件、設置については昨年12月の理事会にてご承認を頂きましたが、その後新築工事については、別添資料の通り2社で相見積もりを行った結果、「株式会社佐伯建設」が(税込)38,500千円で安価であり、発注することとしたい。また基本設計・監理業務については、これまでの実績を勘案して「はる建築コンサルト」に、さらに詳細設計については「株式会社佐伯建設」に業務委託することとしたい、との説明が事務局長よりなされた。

なお、本件当初は令和6年4月下旬ごろを目安に開所する予定であったが、行政との打ち合わせをする中で、設計変更、寄附行為の変更手続き等が必要となり、開所時期は今年6月下旬以降にずれ込む見込みとなり、施設規模も1.4倍程度になりそうなことから総額費用も、(税込)48,400千円となる見通しである旨も、追加説明がなされた。

議長より、本件について議場に諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

第6号議案 「学校法人 溝部学園」「リーブルひめやま」「溝部学園購買部」の関連当事者との取引について

議長は、兼田事務局長に第6号議案の説明を告げる。



事務局長より、標記の件については3つの組織の代表者が同一(溝部 仁)で、関連当事者(利益相反関係者)との取引であるとの観点から、承認を頂く必要がある、との説明がなされた。令和5年度においては、「リーブルひめやま」は図書、教材等の販売、「溝部学園購買部」は切手、消耗品等の販売を行ってきましたが、これまで長期間に亘って学園の学生、生徒等の利便性向上に役立ってきたものであり、令和6年度も同様の形態で取引を継続していきたいと考えておりご承認を頂きたい、との発言がなされた。なお、溝部 仁(当事者)は、本件議決には加わらなかった。

議長より、本件について議場に諮ったところ、当事者を除く全員が異議なく承認、可決された。

第7号議案 大分県歯科技術専門学校の学則の変更について

議長は、兼田事務局長に第7号議案の説明を告げる。

事務局長より、別添資料に沿って学則の変更について、概要の説明がなされた。

その内容については、別添資料の項目2. 休業日の修正に伴うもの(9条)から、7. その他、呼称・名称及び条文追加による修正に伴うもの、まで6項目となっている、との発言がなされた後、項目毎の説明がなされた。なお、1. 歯科衛生科の定員変更に伴うものについては、既に変更の手続きがなされている旨の、追加説明もなされた。

議長より、本件について議場に諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

第8号議案 修学資金の借りに関する法人保証の継続について

議長は、兼田事務局長に第8号議案の説明を告げる。

事務局長は、本件について主旨説明をした後、別添資料に記載された外国籍の学生14名(令和6年3月末)に対して、引き続き法人保証を継続することに関し、承認を求めた。

議長より、本件について議場に諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

第9号議案 (報告事項) 豊和銀行のF種優先株式の購入について

議長は、兼田事務局長に第9号議案の説明を告げる。

標記の株式購入については、昨年12月の理事会にてご承認を頂いておりますが、当初の予定通り、令和6年2月9日に買付金額30,000,000円、配当率1.85%にて手続きが完了したことをご報告いたします。なお現在、同行のE種優先株式を10,000,000円購入しておりますが、それについては、令和6年4月1日に返金される予定となっておりますが、元金部分を全額定期預金として預入する旨も、事務局長より追加説明がなされた。

議長より、本件について議場に諮ったところ、了承された。

以上をもって、本日の議事は終了した。

11. 閉 会

議長は閉会を宣し、散会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長並びに出席理事4名、出席監事2名は、寄附行為第18条2項の規定により記名、捺印する。

令和6年3月26日

学校法人 溝部学園

議長 (理事長)

溝 部



理 事

溝 部 太 郎



理 事

平 松 茂 保



理 事

渡 邊 シ ゲ 子



理 事

芝 尾 宏



理 事

阿 部 義 隆



理 事

玉 井 鉄 之



本紙は原本と相違ない事を証明致します
令和 6 年 6 月 / 日

学校法人 溝 部 学
理事長 溝 部



学則の変更の趣旨等を記載した書類
ア. 学則変更(収容定員変更)の内容

別府溝部学園短期大学は、学則第4条に定める入学定員及び収容定員を、令和7年度(2025年度)から次のとおり変更する。

(新)

学 科	入学定員	収容定員
ライフデザイン総合学科	75名	150名
食物栄養学科	40名	80名
幼児教育学科	50名	100名
介護福祉学科	35名	70名

(旧)

学 科	入学定員	収容定員
ライフデザイン総合学科	60名	120名
食物栄養学科	40名	80名
幼児教育学科	70名	140名
介護福祉学科	30名	60名

イ. 学則変更(収容定員変更)の必要性

別府溝部学園短期大学(以下、「本学」という。)は、創設者 溝部ミツエにより昭和21年4月より大分県別府市に別府高等技芸学校が設立され、昭和28年12月に学校法人溝部学園が認可された。昭和39年4月より別府女子短期大学被服科(定員40名)が設置認可され、昭和41年4月に食物科(定員100名)、昭和43年4月に幼児教育科(定員50名)、平成15年4月より介護福祉学科(定員40名)が開学されてきた。

建学の精神「自立自活できる人材の育成」を掲げ、地域人材を79年間にわたり3つのポリシーに基づき教育活動を進めてきている。

a) 幼児教育学科の定員変更

近年の少子高齢化社会の元、保育者の育成は求められているなか、平成20年4月より幼児教育学科の入学定員を70名(20名増)として、社会の要請に応じてきた。しかし、近年は高校生の保育者を目指す生徒の減少傾向がでており定員割れを続けている。過去5年間の入学者の平均は47名となり、これまでの入学定員(70名)の充足率は67%となっていることから、令和7年度より適性入学定員として設立時の50名に戻すことにより、適切な運営が図れると考えている。

b) 介護福祉学科の定員変更

高齢社会を迎え、大分県では全国有数の高齢県となり介護福祉士の要請が高まってきた。そこで本学は平成15年に介護福祉学科(定員40名)を設立し地域人材を育成してきた。当初は定員を上回る受験があったが、平成28年度の平均入学定員充足率は0.68となり、平成29年度は0.33となった。これらのことから平成31年度より入学定員を40名から10名減員した30名とし、入学定員充足率の適正化を図ってきた。しかし、おおいたけんないの高校生の介護職を目指す生徒は急減し、日本人の入学者は定員の50%を下回る状況が出てきた。大分県の高齢化は一層進行し、介護福祉士の求人は例年100名を超え、需要に応えられない状況となった。そのような中、外国人留学生を対象とした説明会を現地で開催したところ、各地で多くの反響があり、留学生入試を行うこととした。その結果、コロナ禍ではあったがミャンマーの受験生は100名を超え、日本語能力試験N1・N2の合格者の受験生が殺到してきた。令和5年度介護福祉学科(定員30名)の収容率は1倍となり、実際の不合格者は100名を超える状況となった。このことから入学定員を30名から5名増の35名とすることは可能であり、大分県内で介護福祉士の要請は一部応えられる事となると考えている。

c) ライフデザイン総合学科の定員変更

ライフデザイン総合学科はデジタル技術を利用したデザインや工芸、ファッション、ブライダル、医療事務、ビジネス、観光、日本語学習など、幅広く学べる教育課程を構築しています。近年はデジタル(情報)を活用したICT教育に力を入れており、高校生からの希望が増加の傾向にあります。そして、留学生の入学希望が増加の傾向にあり、令和5年度入試において外国人の受験者は90名を超える状況である。大分県ではデジタル技術を持った人材、及び温泉観光人材を求めており、これまでの入学定員60名を令和7年度より15名増の75名に変更する事で地域の人材育成をより一層進める事ができる。

ウ 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容

(ア) 今回の学則変更(収容定員変更)に伴う、直接的な教育課程、教育方法及び履修指導方法等の変更はない。また、大学全体の施設・設備等についても現状の環境を維持する。なお、学科予算については、学科定員によらず実際の在籍学生数に応じて予算を配当していることから、今回の収容定員の変更による影響はない。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

幼児教育学科は入学定員を20名減としているが、令和5年度の入学者数は変更後の学生と同様である事から、これまでの教育方法及び指導方法に変更はない。

ライフデザイン総合学科は入学定員を15名増としているが、教員1人当たりの受講者数を20名以下のクラス編成としており、少人数制の教育は堅持するため、変更はない。

介護福祉学科は5名増の変更であるが、設置の時期には入学定員40名での指導を前提とした教育を進めてきた。今回の変更で当時の5名減となることから、教育方法及び履修指導方法の変更はない。

学生サポートセンター及びクラス担任制を整備しており、学生の対応には力を入れてきた。専門職就職率はほぼ100%を続けてきており、地域人材の育成は教育成果が出ている。

(ウ) 教員組織の変更内容

幼児教育学科の教員組織の変更はない。

ライフデザイン総合学科の教員組織は留学生対応の授業について、少人数・能力別クラス編成を行うため、入学者数により必要教員を増加する計画である。但し、1クラス20名以下の編成は堅持する。

介護福祉学科の教員組織の変更はない。

別府溝部学園短期大学学則の一部変更に伴う新旧対照表

新 (令和7年4月1日改訂)	旧 (令和6年4月1日改訂)																																											
<p>第1条～第3条 略</p> <p>(学生定員) 第4条 学生定員は次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">学 科</th> <th style="width: 15%;">入学定員</th> <th style="width: 15%;">収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ライフデザイン総合学科</td> <td style="color: red;">75名</td> <td style="color: red;">150名</td> </tr> <tr> <td>食物栄養学科</td> <td>40名</td> <td>80名</td> </tr> <tr> <td>幼児教育学科</td> <td style="color: red;">50名</td> <td style="color: red;">100名</td> </tr> <tr> <td>介護福祉学科</td> <td style="color: red;">35名</td> <td style="color: red;">70名</td> </tr> </tbody> </table>	学 科	入学定員	収容定員	ライフデザイン総合学科	75名	150名	食物栄養学科	40名	80名	幼児教育学科	50名	100名	介護福祉学科	35名	70名	<p>第1条～第3条 略</p> <p>(学生定員) 第4条 学生定員は次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">学 科</th> <th style="width: 15%;">入学定員</th> <th style="width: 15%;">収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ライフデザイン総合学科</td> <td style="color: red;">60名</td> <td style="color: red;">120名</td> </tr> <tr> <td>食物栄養学科</td> <td>40名</td> <td>80名</td> </tr> <tr> <td>幼児教育学科</td> <td style="color: red;">70名</td> <td style="color: red;">140名</td> </tr> <tr> <td>介護福祉学科</td> <td style="color: red;">30名</td> <td style="color: red;">60名</td> </tr> </tbody> </table>	学 科	入学定員	収容定員	ライフデザイン総合学科	60名	120名	食物栄養学科	40名	80名	幼児教育学科	70名	140名	介護福祉学科	30名	60名													
学 科	入学定員	収容定員																																										
ライフデザイン総合学科	75名	150名																																										
食物栄養学科	40名	80名																																										
幼児教育学科	50名	100名																																										
介護福祉学科	35名	70名																																										
学 科	入学定員	収容定員																																										
ライフデザイン総合学科	60名	120名																																										
食物栄養学科	40名	80名																																										
幼児教育学科	70名	140名																																										
介護福祉学科	30名	60名																																										
<p>第5条～43条 略</p> <p>付 則 一部省略 この学則は、令和4年4月1日より施行する。 この学則は、令和5年4月1日より施行する。 この学則は、令和6年4月1日より施行する。 この学則は、令和7年4月1日より施行する。</p> <p>付 則 前項の規定にかかわらず、改正後の第4条に規定する各年度における学生定員は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">区分</th> <th style="width: 30%;">学 科</th> <th style="width: 15%;">入学定員</th> <th style="width: 15%;">収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="color: red;">令和6年度</td> <td>ライフデザイン総合学科</td> <td style="color: red;">60名</td> <td style="color: red;">120名</td> </tr> <tr> <td>食物栄養学科</td> <td>40名</td> <td>80名</td> </tr> <tr> <td>幼児教育学科</td> <td style="color: red;">70名</td> <td style="color: red;">140名</td> </tr> <tr> <td>介護福祉学科</td> <td style="color: red;">30名</td> <td style="color: red;">60名</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="color: red;">令和7年度</td> <td>ライフデザイン総合学科</td> <td style="color: red;">75名</td> <td style="color: red;">135名</td> </tr> <tr> <td>食物栄養学科</td> <td>40名</td> <td>80名</td> </tr> <tr> <td>幼児教育学科</td> <td style="color: red;">50名</td> <td style="color: red;">120名</td> </tr> <tr> <td>介護福祉学科</td> <td style="color: red;">35名</td> <td style="color: red;">65名</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="color: red;">令和8年度</td> <td>ライフデザイン総合学科</td> <td style="color: red;">75名</td> <td style="color: red;">150名</td> </tr> <tr> <td>食物栄養学科</td> <td>40名</td> <td>80名</td> </tr> <tr> <td>幼児教育学科</td> <td style="color: red;">50名</td> <td style="color: red;">100名</td> </tr> <tr> <td>介護福祉学科</td> <td style="color: red;">35名</td> <td style="color: red;">70名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	学 科	入学定員	収容定員	令和6年度	ライフデザイン総合学科	60名	120名	食物栄養学科	40名	80名	幼児教育学科	70名	140名	介護福祉学科	30名	60名	令和7年度	ライフデザイン総合学科	75名	135名	食物栄養学科	40名	80名	幼児教育学科	50名	120名	介護福祉学科	35名	65名	令和8年度	ライフデザイン総合学科	75名	150名	食物栄養学科	40名	80名	幼児教育学科	50名	100名	介護福祉学科	35名	70名	<p>第5条～43条 略</p> <p>付 則 一部省略 この学則は、令和4年4月1日より施行する。 この学則は、令和5年4月1日より施行する。 この学則は、令和6年4月1日より施行する。</p>
区分	学 科	入学定員	収容定員																																									
令和6年度	ライフデザイン総合学科	60名	120名																																									
	食物栄養学科	40名	80名																																									
	幼児教育学科	70名	140名																																									
	介護福祉学科	30名	60名																																									
令和7年度	ライフデザイン総合学科	75名	135名																																									
	食物栄養学科	40名	80名																																									
	幼児教育学科	50名	120名																																									
	介護福祉学科	35名	65名																																									
令和8年度	ライフデザイン総合学科	75名	150名																																									
	食物栄養学科	40名	80名																																									
	幼児教育学科	50名	100名																																									
	介護福祉学科	35名	70名																																									

学生確保の見通し及び学生確保に向けた取り組み

(1) 新設組織の概要

① 新組織の概要等

入学定員を増とする学科は、ライフデザイン総合学科、介護福祉学科。入学定員を減とする学科は幼児教育学科。全ての所在地は、大分県別府市大字野田78番地。

収容定員を減とする幼児教育学科は、令和6年度の入学定員（70名）を令和7年度より入学定員（50名）の20名減とする。収容定員は100名。

収容定員を増加するライフデザイン総合学科は令和6年度の入学定員（60名）を令和7年度より入学定員（75名）の15名増とする。収容定員は150名。

収容定員を増加する介護福祉学科は令和6年度の入学定員（30名）を令和7年度より入学定員（35名）の5名増とする。併せて20名の増となる。収容定員は70名。

別府溝部学園短期大学としての増減はない。

② 収容定員の増加をする組織の特色

・ライフデザイン総合学科

ライフデザイン総合学科は幅広い科目を開設し受講者のニーズに沿った受講が可能となる教育課程を構築している。大分県内の高等教育機関ではファッションやブライダルの体系的学びができる学校は本学のみである。そしてICTを活用したグラフィックデザインのスキルを磨き、県内のデザイン・印刷・広告業界への就職の窓口となっている。また、DX化に対応したデジタル人材の育成も行っており、医療機関での就業を目指す学生も多い。大分県では「日本一のおんせん県おおいた」のキャッチフレーズで観光に力を入れている。特に温泉観光の人材を必要としているため、温泉コンシェルジュの体系的学びができることから留学生の入学希望者が年々増加の傾向にある。

・介護福祉学科

介護福祉学科は介護福祉士養成課程である。大分県の高齢化率は極めて高く多くの介護人材を必要としている。しかし、入学定員30名であるが日本人学生は10名程度であり、地域の需要に応えられていない。出入国管理庁は外国人の介護福祉士課程卒業生の在留を認め、大分県では外国人の就学支援金制度を定め政策として外国人の介護人材を受け入れる枠組みができてきた。そこで本学では外国人留学生の募集を近年進めてきた。その結果、地域の老人福祉施設と連携し留学生の受け入れ体制を盤石にした結果、留学生の受験者は100名を超え、受験者の多くが日本語能力検定N1・N2合格者が含まれており、多様な学生が学ぶ学科として地域に期待されてきている。

(2) 人材需要の社会的な動向

収容定員を増加する学科の社会的な人材需要や動向について説明する。

① 収容定員を増加する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

私たちの生活に必要な職業として「衣食住・医療・介護」に関係した分野の人材は必要である。

- ・衣料に関係した分野として、被服の補正・販売の人材は体系的専門的スキルを求められているが、大分県内の高等教育機関では本学以外は養成されていない。

- ・デザイン・印刷・広告業界はコロナ禍が終息の傾向を示す中、求人は増加の傾向にある。特にICTを利用したデジタルスキルを身につけた人材が求められている（資料7）。大分県内の高等教育機関でデジタルスキルを中心としたグラフィックデザイン技術者を育成しているのは、本学及び県立芸術短期大学があるが需要に応えられていない。

- ・医療機関では電子カルテをはじめ各種業務でDX化が進められ、デジタルスキルを持った人材が求められている（資料7）。

- ・大分県は温泉観光県として全国からの集客に力を入れている。そしてインバウンド対応も喫緊の課題となっている（資料6・7）。英語を始め多言語対応ができ、温泉関係の知識を持った人材養成が期待されている。別府市を中心に宿泊施設の建設ラッシュが起きており、優秀な人材を多数必要としてきている。全国的にも観光業の人手不足は顕著である（資料7）。出入国在留管理庁は特定技能を持った外国人の在留資格に係る制度も打ち出され（資料9）、多言語スキルや温泉コンシェルジュのスキルを持った人材の養成が期待されている。

- ・わが国は急速な高齢社会となってきた。そのため介護者の不足が顕著になってきている（資料10・11）。そのような中、出入国管理庁は外国人の在留資格「介護」として外国人材の受け入れを進める施策をとってきている。大分県では介護職員の不足を補うため外国人介護職員を積極的に受け入れる体制を取ってきている（資料14）。そして介護福祉士養成課程の学生を対象とした就学支援制度も行われ、外国人材の介護職への就業期待は大きい。

② 中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

九州沖縄エリアの2023年から2035年における18歳人口の動向予測について（文部科学省「学校基本調査」）の予測では、6.1%減少するが全国平均の11.6%を5.5ポイント下回っている。2024年にはやや減少するが2027年にかけて6502人増加、2029年には1857人増加、その後減少傾向になるとされている。

短期大学進学率について分析すると、大分県は2023年度九州のなかでトップの7.4%で九州の平均4.0%を大幅に超える短大進学県である。大分県内の短期大学残留率は2023年度75.8%であり2014年度からほぼ同率である。短大進学希望者は大分県内に残る地元志向が強いことが伺える。

③ 収容定員を増加する学科の主な学生募集地域

令和6年度の入学者の出身地域別の分析を行った。入学生の全員の出身地域として分析を行うと、56.4%は外国である。日本人学生のみを対象とすると大分県からの入学者は88.9%で、次いで宮崎県の8.3%であり大分県内の高校生の地元志向が強く表れている。そのため学生募集は大分県を主として、宮崎県を県外募集地域として位置づけている。

外国人留学生の出身国別の学生数は、ネパール47名、ミャンマー28名、スリランカ18名、中国4名、フィリピン1名である（資料17）。これらの上位4カ国には毎年2回程度、直接現地に出向きガイダンスを行い、現地の日本語学校等を訪問し本学の説明会を開催している。そして、現地入試を行っている。受験の要件としては経費支弁者・日本語能力検定2級相当・日本での留学目的・就学意欲・本学のアドミッションポリシーの理解等を満たしている者としている。これまでの入学者の卒業率は98%であり、これらの地域の学生募集は有効と判断している。

④ 既設組織の定員充足状況

本学は、令和6年度現在の各学科の収容数は、ライフデザイン総合学科（123名）、食物栄養学科（60名）、幼児教育学科（68名）、介護福祉学科（71名）となっている。

収容率は、ライフデザイン総合学科（1.03）、食物栄養学科（0.75）、幼児教育学科（0.49）、介護福祉学科（1.18）となっている。

上記の状況から収容率が0.5を切っている幼児教育学科の収容数を40名減とし、外国人留学生の入学希望者の多いライフデザイン総合学科の収容数を30名増、大分県から求められている介護福祉士養成施設としての介護福祉学科の収容数を10名増とする。外国人留学生入試の応募数が入学希望数の4倍を超えている現状から収容数を増加する学科の学生確保に支障はない。定員割れをしている幼児教育学科は収容数を上記のとおり減とすることで学生の確保は可能と考えている。既設学科の食物栄養学科の収容数80名の変更は考えていない。併設の別府溝部学園高等学校の学生募集に力を入れ定員確保を目指す。（資料2・3・4・4-1）

(3) 学生確保の見通し

① 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

1) ライフデザイン総合学科は以下の教育課程を設けている。

・ファッション・ブライダル業界が求める人材を育成している。この業界の被服に関する人材及び販売に関する専門知識を持った人材育成について、大分県では本学のみとなり競合校はない。そのため地元志向の強い進学希望者の選択先は本学だけとなり一定数の入学者は見込める。

・グラフィックデザイン人材の養成を行っている。大分県の広告・デザイン・印刷業界への就職を目指す生徒の進学先としては、別府溝部学園短期大学のほか大分県立芸術短期大学がある。授業料等の学費でみると県立短期大学は公立であり経費面で本学は不利であるが、日本学生支援機構の就学支援制度を利用することで経済的に就学困難な生徒の進学先として認めていただける環境が高まってきており、本学の就職面で有利となる実践的教育が県立短大よりも優れた評価をいただき、専門就職率も高いことが受験生の学校推薦型選抜の一定数の入学者が期待できる（資料2）。

・医療事務やデジタルスキルを持った人材育成を行う教育を行っている。大分県における医療業界は電子カルテを始め事務業務や医師の負担軽減のためのデジタル化が進行してきている。このためこの教育課程では地域の医療に必要なスキルを身につけた教育を行っており、大分県内の大学・短大では本学のみとなっていることから、地元志向の強い高校生からのニーズの一定数は期待できる（資料1）。

・外国人留学生の日本での高等教育受験希望者は増加の傾向にある。留学生を対象とした教育課程として、ビジネス・観光及び日本語能力の向上を目指した学びをとおして4年制大学への3年次編入及び入学を目指す受験生は多い。そして、大分県は観光県を推し進めており、「日本一のおんせん県おおいた」をキャッチフレーズとしている。このためインバウンド需要を喚起する取り組み、宿泊者を増加する取り組みを積極的に進めている。宿泊施設も増加傾向にあり外国人人材の積極的登用を進めている。あわせて出入国在留管理庁からも外国人人材の入国・就業の緩和の施策も進められており、特定技能取得者の大分県での観光業等への就職者は増加の期待が持てる（資料5・6・7・8・9）。

2) 介護福祉学科

介護福祉学科は介護福祉士の育成を行っている。

わが国の高齢化率は2020年の28.6%から一貫して上昇し、2070年には38.7%へと増加すると推計されている（厚生労働省）。大分県の高齢化率は令和5年(2023年)現在34.2%となっており、高齢化先進県の状況である。介護を必要とする方々への従事者必要数は既に22万人不足の状態(2023年度)（資料10）となっており、介護職員数の推移をみると増加は頭打ち状態(資料11)で、人材の育成は喫緊の課題となっている。大分県では介護人材の不足を改善するために外国人人材を積極的に登用する施策を進めてきている（資料14）。厚生労働省は介護福祉士の在留要件を認める施策を開始している（資料12）。

3) 幼児教育学科

幼児教育学科は幼稚園教諭・保育士の育成を行っている。入学定員の減をする学科である。幼稚園教諭及び保育士の免許・資格を付与する教育課程を進めている。幼児を対象とした幼稚園は減少、保育所（園）は増加、認定こども園は増加の傾向を示しているが、大分県では待機児童数がほぼ0%となっていており、保育者の求人数は横ばいの傾向にある（資料15）が、本学での求人状況は入学定員を上回る求人がきており、在学生の就職先の確保は期待できる。

(3) 学生確保の見通し

① 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果（以下、アイウを一括して記載する）

ア 既設組織における取組とその目標

イ 新組織における取組とその目標

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づき、新組織での入学者の見込み数

1) ライフデザイン総合学科は入学定員を60名から15名増の75名としている。現在の充足率は72%であるが資料2で示してあるとおり、その他の選抜としての留学生選抜での受験生は令和5年度（春入学生・秋入学生）は166名であり、入学者数は49名である。外国人留学生の学生募集として以下の取り組みを行った。そして、日本人学生を対象としたオープンキャンパス及びガイダンスについては以下の取り組みを行い分析を行った。

ライフデザイン総合学科の留学生対象ガイダンス

	R4年度入試	R5年度入試
参加者等総数(a)	166人	195人
うち受験対象者数(b)	160人	175人
うち受験者数(c)	148人	166人
うち入学者数(d)	22人	49人
(受験率 c/b)	1人	1人
(入学率 d/b)	0人	0人

取組概要と入学者数等に関する分析

①取組概要

ライフデザイン総合学科の留学生の募集活動として、ホームページを多言語化したサイトを準備し、募集要項も英語版・中国語版を作成し配布している。ネパール・スリランカ・中国等の現地ガイダンス及び現地入試、そしてインターネット入試を実施している。秋入学生募集のために2月・3月・5月に、春入学生募集のために9月に現地へ出向きガイダンス・入試を実施している。春入学生の入試はインターネット入試を加えている。そして、国内の外国人入試は本学にて実施している。

②過去の取組実績を踏まえた収容定員を増加する組織の入学者数の見込みに関する分析

R4・R5を比較すると、本学への入学希望者は増加の傾向にあり、両年共に120名程度を不合格にしてきた。入学定員が少ないことと、日本語能力が不足していることが主な原因であるが、入学後の学習に問題のない受験生の多くを不合格としてきている。以上の事から、ライフデザイン総合学科の入学定員を60名から75名に15名増とする計画である事から、日本人入学生と留学生の入学者数をほぼ同数の37名を見込む。

ライフデザイン総合学科のオープンキャンパス・ガイダンス

	R4年度入試	R5年度入試
参加者等総数(a)	38人	48人
うち受験対象者数(b)	27人	36人
うち受験者数(c)	14人	18人
うち入学者数(d)	14人	18人
(受験率 c/b)	1人	1人

取組概要と入学者数等に関する分析

①取組概要

【ガイダンス】

R4ガイダンス 対面総数 1,152名

R5ガイダンス 対面総数 1,248名

◎R5はコロナが5類になったことをうけ、ガイダンス実施回数が増加し、対面総数が増加した。

【オープンキャンパス】

R4オンラインデザインコース参加数 38名 /

(入学率 d/b)	1人	1人
-----------	----	----

329名中
R5グラフィックデザインコース参加数 48名／
362名中
◎R4年度よりグラフィックデザインコースのオープンキャンパス参加者が増加した。
【教員対象入学者説明会】
R4 教員参加者 67名
R5 教員参加者 87名
◎校長先生をはじめ、進路指導部の先生への高校訪問実施回数の増加。年3回から、年10回へ。

【学校別説明会】

R4 実施校 8校

R5 実施校 10校

◎学校別説明会の実施校の増加。興味・関心を持つ先生方が増えた。

②過去の取組実績を踏まえた収容定員を増加する組織の入学者数の見込みに関する分析

- ・グラフィックデザイナーが手掛ける仕事の幅は、インターネット環境の普及によってますます広がりを見せており、就活生の間でも人気を集める職業の1つとなっている。

- ・美術クラスを保有する芸術緑丘高等学校だけでなく、鶴崎工業高等学校、藤蔭高等学校などデザインコースをもつ学校が増えた。

- ・通信制高等学校の生徒のオープンキャンパス参加が増えた。

- ・通信制高等学校の生徒が興味を持ちやすい分野であり、本学の長期履修生制度も進学を決める際のポイントとなっている。

※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。

グラフィックデザインコースの入学希望者は増加の傾向にあることから、令和7年度の入学者は22名。ライフデザイン総合学科の日本人入学生は38名を見込む。

2) 介護福祉学科

1) 介護福祉学科は入学定員を30名から5名増の35名としている。現在の充足率は100%であるが資料3で示してあるとおり、その他の選抜としての留学生選抜での受験生は令和5年度は139名であり、合格者数は28名である。外国人留学生の学生募集として以下の取り組みを行った。そして、日本人学生を対象としたオープンキャンパス及びガイダンスについては以下の取り組みを行い分析を行った。

介護福祉学科の留学生対象ガイダンス

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	107人	139人	<p>①取組概要 外国人留学生を対象とした入学ガイダンスをミャンマー現地にて実施している。コロナ禍はインターネットを利用した大学紹介や要項閲覧を行ってきた。R4はオンライン入試を行った。R5は10月に現地にて説明会及び現地入試を行ってきた。受験者全員に日本語能力試験及び面接試験を実施。本学での学修・介護福祉士国家試験に合格可能及び日本国内での就業を目指す受験生のみを合格とした。</p> <p>②過去の取組実績を踏まえた収容定員を増加する組織の入学者数の見込みに関する分析 日本人の入学者が激減してきたが、ミャンマーの受験生は受験の段階で日本語能力試験N1及びN2合格者が多く、本学での日本人学生と同等の学修は可能である。そのため、大分県での求人は卒業生の3倍以上となっていることから、入学定員30名をR7より35名の5名増として28名と見込む。</p>
うち受験対象者数(b)	107人	139人	
うち受験者数(c)	107人	139人	
うち入学者数(d)	14人	28人	
(受験率 c/b)	1人	1人	
(入学率 d/b)	0人	0人	

介護福祉学科のオープンキャンパス

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	49人	43人	<p>①取組概要 例年3月より9月まで毎月1回のオープンキャンパスを実施してきた。併設高校の福祉コースの生徒全員を対象とした体験学習会を催してきた。しかし、近年の介護職に対する希望者が激減傾向にあり、R6の日本人入学者は4名となった。そのため、併設高校全員を対象とした説明会を実施している。また、別府市の中学2年生全員を対象とした出前授業を行い、将来の受験生獲得へ向けた募集活動を実施している。</p> <p>②過去の取組実績を踏まえた収容定員を増加する組織の入学者数の見込みに関する分析 日本人高校生の介護職離れが加速し、全国的に介護福祉士養成課程の募集停止が続いている。しかし、高齢者の増加は続くことから大分県での介護福祉士の求人は例年100名を超えている。そこで、最大限日本人入学生の募集は行っているが多くの望めないが、併設高校3年生の希望者増が見込めることから7名の入学は見込む。</p>
うち受験対象者数(b)	23人	21人	
うち受験者数(c)	16人	16人	
うち入学者数(d)	16人	16人	
(受験率 c/b)	1人	1人	
(入学率 d/b)	1人	1人	

3) 幼児教育学科

1) 幼児教育学科は入学定員を70名から20名減の50名としている。現在の収容充足率は49%であるが資料4で示してあるとおり、過去5年間の入学者は50人以下となってきた。そのような中、オープンキャンパス及びガイダンスについては以下の取り組みを行い分析を行った。

幼児教育学科のオープンキャンパス

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	221人	246人	<p>①取組概要 令和5年度は計8回の<一般向け>オープンキャンパスを実施した。 高大連携協定を結んでいる県内の3校の高等学校のうち2校に対して<学校個別><学科独自>のオープンキャンパスを企画し、キャンパス内にある学園設置園での保育体験も含めたキャリア教育、および学科学生の主催する地域の幼児1900名を対象にした無料の教育イベント(ミュージックカーニバル)での観覧体験を含めたキャリア教育を実施した。 (令和4年度には、宮崎県にある高等学校とも高大連携協定を締結した。) 令和5年度は他にも、計15回、12高等学校、246名を対象に進学ガイダンスを実施した。SNSでの教育内容や学生生活の発信も77回実施した。 令和6年度は、新たにキャンパス内に発達支援センターを開設予定であり、学生の教育体験の充実や実践力の向上に資する計画である。また、教育内容の見直しを行い、新たに令和7年度より「こども音楽療育士」が取得できる教育環境を準備中である。</p> <p>②過去の取組実績を踏まえた収容定員を減少する組織の入学者数の見込みに関する分析 18歳人口が減少していること、70名定員の半数となる実績が2年連続となったこと、しかしながら求人数は多く、保育職人材の社会的な需要が高いことから、定員50名を目指していく。</p>
うち受験対象者数(b)	143人	178人	
うち受験者数(c)	47人	37人	
うち入学者数(d)	43人	36人	
(受験率 c/b)	0人	0人	
(入学率 d/b)	0人	0人	

② 競合校の状況分析 (立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況)

ア 競合校の選定理由と新設組織との比較分析、優位性

- ・ 学校種の類似性

ライフデザイン総合学科との競合校について、ファッション・ブライダルの教育課程を持っている短期大学は大分県にはない。福岡県では香蘭女子短期大学が唯一該当するが地元志向の生徒を対象と考えると競合しない。
グラフィックデザイン技術者の教育課程を考えた場合は、大分県立芸術文化短期大学の美術科が対象となる。
医療分野のデジタルスキル人材育成については、大分県内の高等教育機関はない。
温泉観光における人材育成としては温泉に関する体系的教育をしている高等教育機関は大分県にはない。

介護福祉学科との競合校について、大分県内では介護福祉士養成施設として認可を承けている大学・短大は本学のみである。

・ 定員規模の類似性

短期大学として定員規模の類似性について、隣接している別府大学短期大学部は総入学定員250名であるが、設置学科は食物栄養科（50名）、初等教育科（200名）であり、本学の収容定員の増加をする学科とは競合しない。
大分県内の東九州短期大学は入学定員（40名）であるが設置学科は幼児教育学科のため本学の収容定員の増加をする学科とは競合しない。
大分県立芸術文化短期大学の総定員数は384名である。競合校としては美術科（75名）、国際総合学科（100名）である。

・ 学問分野の類似性

競合校としての学問分野について、大分県立芸術文化短期大学の美術科（美術）・国際総合学科（経済学）・情報コミュニケーション学科（経済学）である。ただし、本学は家政の分野であるため、学問分野として類似性はない。介護福祉士の養成課程は大分県の高等教育機関にはない。

・ 所在地の類似性

大分県内の短期大学として、大分県立芸術文化短期大学、別府大学短期大学部、東九州短期大学、大分短期大学

・ 学力層の類似性

本学入学者と学力層が競合する短期大学としては、別府大学短期大学部、東九州短期大学

○ 競合校との比較分析

介護福祉学科は介護福祉士資格の取得を目指す観点から競合校はない。ライフデザイン総合学科は隣接の別府大学短期大学部は学力面での競合とはなるが、取得資格が違い、専門分野が違うことから競合しない。大分県立芸術文化短期大学は学力層が違うことから競合しない。

イ 競合校の入学志願動向

上記アで述べたとおり、競合校はない。

ウ 収容定員を増加する学科において定員を充足できる根拠

上記ア・イで記述したとおり、収容定員を増加する学科としてのライフデザイン総合学科及び介護福祉学科において大分県内には競合校はない。

外国人留学生希望者が近年2つの学科に各100名以上の受験者があり、令和6年度の収容率が既にライフデザイン総合学科（1.03）、介護福祉学科（1.18）の状況から十分確保できると判断した。

エ 学生納付金等の金額設定理由

令和7年度の年額授業料は、ライフデザイン総合学科600,000円、介護福祉学科600,000円で令和6年度と同額。大分県の一般家庭の賃金の上昇がわずかであり授業料を上げることで受験生が減少する恐れがあるため同額とした。

④ 学生確保に関するアンケート調査

1. 卒業後の進路

【設問】卒業後の進路をどのように考えていますか。（複数選択可）

【選択肢】

ライフデザイン総合学科

①大学(9名) ②短期大学(36名) ③専門職大学(0名) ④専門職短期大学(0名) ⑤
専門学校(8名) ⑥就職(0名) ⑦その他(5名)

介護福祉学科

①大学(0名) ②短期大学(23名) ③専門職大学(0名) ④専門職短期大学(0名) ⑤
専門学校(12名) ⑥就職(0名) ⑦その他(0名)

2. 進学を希望する場合の大学等の設置者

【設問】上記設問の内、①～④を選択した方に質問です。

志望する大学等の設置者の希望を選択して下さい。（複数選択可）

【選択肢】

ライフデザイン総合学科

①国立(0名) ②公立(3名) ③私立(45名)

介護福祉学科

①国立(0名) ②公立(0名) ③私立(39名)

3. 興味のある学問分野

【設問】高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択して下さい。（複数選択可）

ライフデザイン総合学科・介護福祉学科 共通

①商学(3名) ②社会学(12名) ③デザイン(32名) ④家政学(36名) ⑤教育学(2名) ⑥その他(27名)

4. 収容定員を増加する学科の受験希望の有無

【設問】ライフデザイン総合学科を受験しますか。

【選択肢】①第1志望として受験する(18名) ②第2志望として受験する(15名) ③第3志望として受験する(3人) ④受験しない(4人)

【設問】介護福祉学科を受験しますか。

【選択肢】①第1志望として受験する(14名) ②第2志望として受験する(2名) ③第3志望として受験する(0人) ④受験しない(5人)

5. 収容定員を増加する学科に合格した場合の入学希望の有無

【設問】上記4で①～③を選択した方に質問です。

ライフデザイン総合学科を受験して合格した場合、入学を希望しますか。

【選択肢】①入学する(18名) ②志望校が上位の他の志望校が不合格の場合(10名) ③入学しない(4名)

介護福祉学科を受験して合格した場合、入学を希望しますか。

【選択肢】①入学する（15名）②志望校が上位の他の志望校が不合格の場合（2名）③入学しない（5名）

④ 外国人留学生を対象とした調査

1. 卒業後の進路

【設問】卒業後の進路をどのように考えていますか。（複数選択可）

【選択肢】

ライフデザイン総合学科

①日本への留学(175名) ②アメリカへの留学（16名） ③韓国への留学（25名） ④中国への留学（3名）⑤その他（7名）

介護福祉学科

①日本への留学(139名) ②アメリカへの留学（0名） ③韓国への留学（0名） ④中国への留学（0名）⑤その他（12名）

2. 進学を希望する場合の大学等の設置者

【設問】上記設問の内、①～④を選択した方に質問です。

志望する大学等の設置者の希望を選択して下さい。（複数選択可）

【選択肢】

ライフデザイン総合学科

①4年制大学（34名） ②2年制大学（175名） ③その他（0名）

介護福祉学科

①4年制大学（16名） ②2年制大学（139名） ③その他（0名）

3. 興味のある学問分野

【設問】これから学びたいと考えている興味のある分野を次の中から選択して下さい。

（複数選択可）

ライフデザイン総合学科

①ビジネス（46名） ②観光（41名） ③デザイン（12名） ④IT（30名） ⑤ファッション（2名） ⑥その他（27名）

介護福祉学科

①介護（140名） ②医療（41名） ③その他（18名）

4. 収容定員を増加する学科の受験希望の有無

【設問】ライフデザイン総合学科を受験しますか。

【選択肢】①第1志望として受験する（175名） ②第2志望として受験する（19名）③第3志望として受験する（3人）④受験しない（0人）

【設問】介護福祉学科を受験しますか。

【選択肢】①第1志望として受験する（139名） ②第2志望として受験する（6名）③第3志望として受験する（0人）④受験しない（0人）

○ 日本人受験生のクロス集計

ライフデザイン総合学科（日本人）のクロス集計
上記1～5の設問で合致した数は18名

志望	学問分野		
	デザイン	家政学	商学
第1志望	13	4	1
第2志望	0	0	0

上記の結果から日本人受験者は第1志望での受験で入学が決定する。

介護福祉学科（日本人）クロス集計
上記1～5の設問で合致した数は12名

志望	学問分野		
	社会学	家政学	その他
第1志望	4	4	4
第2志望	0	0	0

上記の結果から第1志望で受験合格し入学する。

ただし、受験生にとって介護福祉分野が社会学と認識することは困難だったと考えられる。

○ 外国人留学生のクロス集計

ライフデザイン総合学科（留学生）クロス集計
上記1～5の設問で合致した数は47名

志望	設置者		
	4年制大学	2年制大学	その他
第1志望	4	175	0
第2志望	2	0	0

上記の結果から第1志望で希望する設置者は2年生の学生が大半を占める。

介護福祉学科（留学生）クロス集計

上記1～5の設問で合致した数は28名

志望	学問分野		
	介護	医療	その他
第1志望	28	10	0
第2志望	0	0	0

上記の結果から第1志望で希望する分野は介護が多く医療でも良かった。

(4) 定員を増加する学科の定員設定の理由

(1)～(3)までの説明に示したとおり、大分県では温泉観光地としての産業振興に力を入れており、英語（多言語）が話せて日本会話ができ、温泉の知識を持った観光人材を求めている。そのためライフデザイン総合学科は入学定員を60名から15名増の75名とし、収容定員を150名とする。

そして、大分県は全国有数の高齢県になっており、介護人材が不足している。そこで大分県の高等教育機関として唯一の介護福祉士養成施設である介護福祉学科の入学定員を30名から5名増の35名とし、収容定員を70名とする。

教 員 名 簿

学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
	学長	ミヅベ ヒトシ 溝 部 仁 <平成10年4月1日>	76	修士 (経営学)		別府溝部学園短期大学 学長 (平成10年4月~)

資料

- 1 リクルート進学総研マーケットレポート2023
- 2 ライフデザイン総合学科の各種選抜方法の状況
- 3 介護福祉学科の各種選抜方法の状況
- 4 幼児教育学科の各種選抜方法の状況
- 4-1 食物栄養学科の各種選抜方法の状況
- 5 人手不足に対する企業の動向調査
- 6 大分県観光動向調査
- 7 「旅館・ホテル」「飲食店」の人手不足割合 月次推移
- 8 特定技能1号の仕事
- 9 宿泊分野における特定技能の在留資格に係る制度の運用に関する方針
- 10 介護職員の必要数
- 11 介護職員数の推移
- 12 在留資格「介護」
- 13 将来推計人口（令和5年推計）の概要
- 14 外国人介護者募集
- 15 こども家庭庁2023
- 16 新設組織が置かれる都道府県への入学状況
- 17 外国人留学生入学状況

著作権者の許諾が得られていない書類等について

1.校地校舎等の図面

別府溝部学園短期大学の都道府県内における位置関係の図面（資料 2、 1 及び 3 ページ）

2.（出典 引用）

・ 大分県ホームページ <https://www.pref.oita.jp/site/kids/sichoson.html>

・ Google

<https://www.google.com/maps/place/日本、〒874-0021+大分県別府市亀川中央町29-10>

[/@33.328688,131.489847,15z/data=!4m5!3m4!1s0x3546a77d171fae95:0x12a22aac4c04daf!8m2!3d33.3286877!4d131.4898473?hl](https://www.google.com/maps/place/日本、〒874-0021+大分県別府市亀川中央町29-10/@33.328688,131.489847,15z/data=!4m5!3m4!1s0x3546a77d171fae95:0x12a22aac4c04daf!8m2!3d33.3286877!4d131.4898473?hl)

3.

・ 1 ページの大分県の図表の別府溝部学園短期大学の位置を赤丸で囲った。また、Google の地図に矢印で別府溝部学園短期大学の位置を指した。